

2023 年度 文部科学省創造的教育方法実践プログラム
3D メタバースを活用したバーチャルキャンパス展開(2 年目)

1. 目的と目標

目的

2022 年度 10 月から文部科学省委託事業として活動を開始した。

本学で 2019 年度から取り組んでいる『しちやるラボ』を発展させていくことが最大の目的である。『しちやるラボ』とは、生徒が主体となり、地域の社会人や活躍する卒業生との交流から、地元益田市の家庭料理を発掘、料理本制作を行うプロジェクトである。本事業へ継続させることにより、料理の側面のみならず、過疎地におけるまちづくり、魅力ある地域づくりに寄与できるものとする。

そして、本学の位置する益田市は第一次産業を中心に豊かな自然を利用した産業、石見神楽や石州和紙といった伝統工芸、日本遺産に登録された歴史的遺構など多彩な魅力にあふれている。こうした魅力ある地域を、次代を担う生徒たちの手によって後世に伝え、広め、昇華させていくことを最大の目的としている。また、社会の目まぐるしい変化に対応するためにネットリテラシーやメタバースの仕組みを授業内で理解し、マネジメント学習を併用することで地域から都市部、海外への発信などを通して次世代を生き抜く力も育てていきたいと考えている。

目標

目 標	目 標 設 定 の 理 由
生徒の自尊感情の向上 能動的な学習姿勢の構築	学習に対して能動的に取り組んでいる指標として、自尊感情の向上を目指す。地域社会との連動により、さまざまな課題や問題を解決することで、自尊感情は向上すると考えているためである。
新製品の開発	多様な資源とつながることで、地元産業に貢献しうる線製品を開発する。・2023 年度の成果目標として①商品開発②サービスの提供③販売④収益を考える。 ・産官学連携をベースとした進め方を行っていく。 ・開発、販売の過程で不明な点、行き詰まりをプロ(特別講義)の方たちから学び、打開策を考えていく。
プラットフォームの開発	地域社会と連動するために仮想空間上にプラットフォームを設置する。このことにより、中山間地域特有の問題である距離を縮め、簡易にアクセスできる状況を創出する。 ○初年度(2022 年度)活用プラットフォーム oVice (2D メタバースを活用) 株式会社 oVice 製品 ○2 年目(2023 年度)活用プラットフォーム cluster(3D メタバースを活用) クラスター株式会社製品 変更理由…2022 年度は外部講師を中心に本学生徒

	<p>へ向けた講義を主な活動としていたが、2023年度は商品開発、販売を行うといった活用の拡大を考えており、より多くの外部の方がメタバース上に入ることができる必要性が考えられたため。</p> <p>契約…2023年5月(1年契約)</p>
<p>広く周知する</p>	<p>学校と地域社会との連動によって生まれた価値や課題を広く周知することにより、多くの地域で役立ててもらおう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ TikTok(SNS)の作成、情報発信 ・ Instagram(SNS)の作成、情報発信 ・ YouTube の作成、情報発信
<p>広く利用してもらおう</p>	<p>プラットフォームを本学のみが利用するのではなく、離島や中山間地域において必要とする子どもたちすべてに展開する。</p>

国立大学法人 弘前大学 桐村教授による分析結果
調査結果報告書（2023 年度）

2. 組織

2023 年度事業運営組織

校長 → コーディネーター → 教務部長 → ヴァーチャルキャンパスプロジェクトチーム(3名)
→ 事業本部長(副教頭)

- ・ 2022 年度の反省から、運営会議の定期的な開催を行った

2023.4.4 第 1 回打ち合わせ会議
4.7 第 2 回打ち合わせ会議
4.10 第 3 回打ち合わせ会議
4.13 第 4 回打ち合わせ会議
4.14 第 5 回打ち合わせ会議
4.17 第 6 回打ち合わせ会議
4.18 第 7 回打ち合わせ会議
4.21 第 8 回打ち合わせ会議
4.24 第 9 回打ち合わせ会議
5.9 第 10 回打ち合わせ会議
5.16 第 11 回打ち合わせ会議
5.17 第 12 回打ち合わせ会議

※6月22日付でコーディネーターが不在となる。
以降、授業の組みなおしを行った。

3. 2023 年度の授業の流れ

2023 年度は選択バーチャルキャンパス(以下選択 VC)とキャリアサポートとして授業を構成した

選択 VC…1 週間 2 コマ

単位制選択科目として 4 講座開設している中の 1 つ

選択人数 27 名(男子 24 名・女子 3 名)

(当初年間予定)

選択VC 年間実施計画			
実施日時			
4月17日	月		選択科目ガイダンス メンバー選出他
5月	8日	月34h	①メンバー顔合わせ グループ作成 担当決め
	15日	月34h	②現場訪問
	22日	月34h	③商品開発打合せ 1
6月	5日	月34h	④商品開発打合せ 2
	12日	月34h	⑤現場訪問
	26日	月34h	⑥イベント?
7月	3日	月34h	⑦イベント?
	10日	月34h	⑧前期のまとめ
			夏休みイベント参加?
8月	28日	月34h	商品開発打合せ
9月	4日	月34h	商品開発打合せ
10月	16日	月34h	商品開発打合せ
	23日	月34h	現場訪問
11月	6日	月34h	
	13日	月34h	
	20日	月34h	
12月	4日	月34h	販売イベント
	11日	月34h	販売イベント
	18日	月34h	
1月	15日	月34h	
	22日	月34h	
	29日	月34h	
2月	5日	月34h	
	13日	月34h	
	26日	月34h	
3月	4日	月34h	
	11日	月34h	
	18日	月34h	成果発表会

(選択 VC)

目標を達成するにあたって少数実施が好ましいと考え、選択授業の中で実施していく

(キャリアサポート)

主には目標達成に主眼を置いた大人数編成となっている

2023年度の流れとしては、2022年度の反省を踏まえ、事前授業、授業、事後指導の流れを確立していく
最終的には生徒が選択した授業の感想等をプレゼン形式で発表していけるようにしていく

【実践事例】

2023.5.10(水)

事前授業

- ・各担当教員による講師紹介
- ・生徒 MC 打ち合わせ
- ・授業選択
- ・選択した講師に対する質問作成

2023.5.16

全体授業

講師① まどぎゃん

(経歴・略歴)

小学1年生と2歳の2児の母

進学校に行くも、やりたいことがわからないまま専門学校へ進学

卒業後、就職するが2年で辞め、看護師になる

患者さんを看取る中で納得して亡くなっていくための人生を送ることが大切であると実感

長女の出産をきっかけに在宅事業をスタート

デザイン、ライティング、セールス、コーチングなど他分野で活躍しながら、やりがいを感じられる人生にしていくためのサポートを続けている

(授業テーマ)

1. どのような大人になれば楽しいと思える人生になるのか
2. 好きなことの正体とやりたいことを仕事に繋げていく

(SNS)

- ・Instagram : https://www.instagram.com/madoka_rtm/?hl=ja

【生徒の感想】

・今回の授業で将来失敗しても気持ちを切り替えたり、相手に意見をしっかりと言えるような大人になりたいと思いました。高校生活は、あと少しで、終わってしまうけど、今までの経験とこれからの経験をたくさん積んで大切にし、なるべく後悔しない人生をおくりたいと思いました。

・好きなことは、自分のやり方に繋がるし、目標になるので、好きなことを大人になっても続けたいと思いました。

・話を聞いて、大人って大変なイメージがあったけど、やりたいことを生きているうちにやるべきだと教えてくれました。大人になって辛いことに目を向けるよりも、やりたいことを見つけることが大事だと思えた講演でした。

講師② なお

【経歴】

長崎出身、現在大阪に在住

小学5年生の時、弟が生まれたことをきっかけに保育士を目指す

2005年 さくら保育園(1歳児担当)

2006年 株式会社リクルート(営業・営業事務)

2017年 同志社大学(広報課)

2021年 おおわだ保育園(0歳児担当)

2022年 個人事業主として性教育の普及活動を行う

2023年 一般社団法人 Hugme 設立(大阪)

現在は「性教育講師」として、子どもの心とからだを守る講座を展開

【授業テーマ】

学校では教えてくれない保育の裏側

【授業内容】

保育士のイメージ

実際の仕事内容

保育士をしていて身につくこと

保育園の選び方

最後に保育士を目指している生徒に向けてのメッセージ

【SNS】

・Instagram :https://www.instagram.com/nao_manaliko/

:https://www.instagram.com/koharu_ailab/

:https://www.instagram.com/hug_me.hug/

【生徒の感想】

・「自分が壊れる前にしんどくなってしまうたら逃げても大丈夫。自分以上に大事なものは無い。」という言葉が心にささった。

・自分の得意なことをつき詰めて将来や進路を考えていきたい。

・最初思っていたイメージと異なる場所もあったが実情を知ることができ、さらに保育士に興味を持つことができた。大変な面もあるが、自分の良さややりがいをもてるような職場選びをしたい。

講師③ 33MISA ママ

(経歴)

ギャルモデルとして芸能事務所に所属し、雑誌や TV に出演する

18 歳～東南アジア、オセアニア、南米とバックパックや海外留学を経験し、外側から日本を見ることで視野が広がる

その後、子宝に恵まれ 5 人の息子の母となる

「子供たちの個性を活かせるように」と「才能学」という分野を学び“才能学アドバイザー”として活動する

(授業テーマ)

ウルトラポジティブに生きるヒント ～すべての出来事に意味がある～

同時に、海外の貧困層の底上げ事業への投資を行いつつ、女性自立支援として、お金と時間の大切さを伝える活動も行っている

(SNS)

・ Instagram : <https://www.instagram.com/33misa.s/>

【生徒の感想】

- ・世間が決めたものさしで自分の価値を評価するのではなく、自分の決めたものさしで自分を測ることが、ネガティブにならないための技だと学べた。
- ・ネガティブに捉えるのではなく、ありのままの自分を受け入れようと思った。
- ・「～のせいで」と考えるのではなく、「～のおかげで」と考えるように生きていきたい。
- ・ポジティブに生きるには、ポジティブ、ネガティブ両方の気持ちを受け入れながら前向きに捉え、広い視野を持ちながら生きていくことが大事だと感じた。
- ・ポジティブになるには自分を信じ、自分のことを好きになることが大切だと思った。

【実践事例】

2023.6. 選択授業

講師① 武田 英二郎 (たけだ えいじろう) 1988 年生まれ 神奈川県出身

【経歴・略歴】

J1、2 通算 232 試合出場 5 得点

FC 中原 (成蹊小学校)

2001 年～2003 年 横浜 F・マリノスジュニアユース (成蹊中学校)

U-15 日本代表

2004 年～2006 年 横浜 F・マリノスユース (成蹊高等学校)

U-16 日本代表

2007 年～2010 年 青山学院大学

2010 年～ 湘南ベルマーレ (特別指定選手)

2011 年～2014 年 横浜 F・マリノス

2012 年～ ジェフユナイテッド市原・千葉 (期限付き移籍)

2013 年～ ガイナーレ鳥取 (期限付き移籍)

2014年～ アビスパ福岡（期限付き移籍）
2015年～2017年 湘南ベルマーレ
2018年～ 横浜FC

【SNS】

- ・武田 英二郎 選手

Instagram : <https://www.instagram.com/eijiro.takeda17/>

- ・所属チーム：横浜FC

Instagram : https://www.instagram.com/yokohamafc_official/

YouTube : <https://www.youtube.com/@FC-sq2bo>

【メディア】

心臓手術を乗り越えた武田英二郎。横浜FCの中間管理職が感じる恩義。

<https://number.bunshun.jp/>

【授業名】

自己実現（夢・目標実現）のために大切なこと

【特別授業内容】

「正しい知識」と「具体的な目標設定」のレクチャーを実体験を交えて行う予定です。

【生徒の感想】

- ・初めてMCをしてあまり上手にできなかったけどいい経験ができたので良かった。武田さんが最初に教えてくれた、小さい努力や続けられる自主練がとても大切だと思った。僕も飽き性で続かないので、小さいことでも続けていきたいと思った。
- ・僕は別のスポーツをしているけど、役に立つことが多かった。モチベーションが低くなるのが最近多かったんで、小さい目標を立てて、小さい努力を続けてみようと思った。
- ・どのように試合に臨むか、どのように年をとってもレギュラーでいられるか、どのようにプロになり、長い間活躍する方法や心の状態とかを聞いて、自分もスポーツをしているのですごく参考になった。

講師② 曾根田夏樹（そねだなつき）1990年生まれ 宮崎県出身

【経歴】

小4からバスケットを始める

中学生でジュニアオールスター宮崎代表

私立延岡学園高等学校へ入学

埼玉インターハイ 優勝

国体 3 位

ウィンターカップ 3 位

天皇杯 出場

高校卒業後、トヨタ自動車株式会社に入社

25 歳～海外にて出会った経営者をきっかけに独立、ファイナンス業務をスタートする

2018-2022 年 Crosslink Ltd CEO(香港)

2020-2022 年 合同会社 Crosslink Japan 代表(愛知)

【現在】

2022 年 7 月 Inclusion Financelink 株式会社 代表取締役(福岡)

【実績】

2018 年 法人 5 社講演 年間 4000 名参加

2019 年 愛知県某小学校・中学校 講演

2020 年 (6 月迄) 上場企業 YouTube/終活・キッズマネー講演

海外学校支援・バスケットスクール支援

2021 年 教員専用オンラインスクール FTC 創設

2022 年 NPO 法人 Discovery School 様へ講演

2022 年 A4L UNIVERSITY 旅するスポーツ大学 認定講師就任

2022 年 一般社団法人博多美人会様へ講演

【メディア】

2021 年 各界で活躍する挑戦者達 The Human Story 掲載

2021 年 世界の『今』を届けるビジネス情報誌 Qualitas 電子版掲載

2022 年 ふくおか経済雑誌 8 月号 掲載

2022 年 Business Story Magazine FUKRATS Vol2 掲載

【インクルージョンファイナンスリンク株式会社】

<https://inclusion-financelink.com/>

【Financial Teacher College】

<https://ftc.inclusion-financelink.com/>

【テーマ】金融教育～社会に出る前に知っておきたいお金の声

【授業名】詐欺から学ぶ！？ 社会のリアルとお金の稼ぎ方

【授業内容】

目次

- 詐欺とはなにか？

- リアル投資詐欺の事例
- 社会に出たら話がる勧誘事例
- 詐欺から身を守る方法
- お金持ちはどんな人？
- お金の稼ぎ方を知る
- ストック型とフロー型
- 三種の銭技
- まとめ
- 質問タイム

【授業実施日】

① 事前授業 令和5年6月7日

翌14日に行われる特別授業の事前授業を行い、受講したい講義を選択した。事前授業は、講師の情報や授業内容の概略を予め入手し、担当教員がパワーポイントやKeynote等のアプリを用いて行った。教員が事前授業を行う目的は、事後授業は生徒が各種アプリを用いてプレゼン発表を行うため、その参考となることにある。

② 特別授業 令和5年6月14日

事前授業を受けて33名の生徒が受講を希望した。ただ、当日は感染症のため学級閉鎖となったクラスがあり、20名の受講となった。授業はcluster上で行い、ログイン等は速やかに行われ、予定通り授業を開始することができた。授業中の通信状況は問題なく、スムーズな授業進行をすることができた。

授業の進行役として生徒1名がMCを務めた。最初に講師を紹介し、授業へと展開していった。授業中は、講師の問いかけに対して、受講生に積極的に反応を求めたり、自身の意見を述べたりすることができた。

授業内容は、社会に出たときに知っておいた方が良いお金にまつわる話題が豊富で、大変興味深いものであった。生徒においても、興味深くメモを取りながら受講している生徒も多く見受けられた。一方で、内容の理解に苦しみ集中力が途切れる生徒も見受けられた。

③ 事後授業 令和5年6月15日

1班3~4名で班を構成し、2時間でプレゼン資料のまとめ、1時間で各班の発表を行った。プレゼン用アプリの操作に不慣れであるため、イメージした通りの資料作成にはならなかったようであるが、各班とも役割分担をするなど協力して作成することができた。発表については、人前で発表することが不慣れな生徒が多く、声の大きさや速さ、プレゼン資料の文字の大きさやスライドを進める速さなど、聞き手の立場を考えながら発表することはできなかったが、今後の成長課題として浮き彫りになったことは収穫であった。

【生徒作成の事後授業プレゼン資料】

使用アプリ：Keynote

詐欺から学ぶ！？社会のリアルとお金の稼ぎ方
講師:曾根田 夏樹

藤井・濱村・平末

01 詐欺とは

■ 詐欺とは？

他人を騙して金や品物を奪ったり、損害を与えたりすること

罰金刑がない重大な犯罪

- ・詐欺=ポンジとも呼ばれる
- ・詐欺師の鉄則・・・リスクを最小限に抑える

02 勧誘事例

■ 社会に出たら話がくる勧誘事例

- ・マルチ商法・・・消費者から販売者に
- ・社会人サークル商法・・・飲み会や勉強会で強引に買わされる
- ・デート商法・・・好意を抱かせ商品を販売する
- ・闇バイト・・・短時間で高収入で騙し、受け子や出し子にされる

特にデート商法でお金の話が出たら即アウト

03 身を守る

■ 身を守るには

- 1、即決せず疑う(なぜいい話が自分にきたのか)
- 2、投資であれば届け出があるところか確認(金融庁)
- 3、専門家や身内に相談する(営業マン×)

04 詐欺にあったら

■ もし詐欺にあったら

- 1、時系列と証拠をまとめる(5WiH)
- 2、相談し対応策を考える
- 3、警察や弁護士に通報又は相談する
- 4、自分勝手に動き相手と連絡を取らない

相談する際には、消費者ホットライン「188」にするといい

05 稼ぎ方

お金の稼ぎ方

大きく二つに

- ・ストック型…一度取引するとずっと貰える(ネットフリックス)
- ・フロー型…その都度取引をしないと貰えない(アルバイト)

お金持ちの特徴

- 1、時間を大切にしている 時間=お金
- 2、自分だけでなくお金働かせている
- 3、世のため人のためという使命感がある

06 まとめ

まとめ

- ☆お金に関する事は即決ではなく疑うこと
- ☆もし詐欺にあえば時系列と証拠をまとめ相談すること
- ☆お金持ちの心得…時間=お金、お金を働かせる、使命感

詐欺や金融について漫画や映画になっている



以上

【生徒の感想】

- ・自分もこれから社会に出て行くので、詐欺被害に遭うかもしれないことを事前に学ぶことができ良かった。詐欺の手口次第では、自分も被害に遭いそうなので気を付けようと思った。
- ・この授業で、詐欺から身を守る対処法などたくさんのことを知ることができて良かった。将来は、マルチ商法などに引っ掛からないように、誘われても断れるような大人になりたい。
- ・この授業を受けて、色々な巧妙な手口の詐欺があり、その中でも豊田商事が印象に残りました。私も本物だと思って確実にだまされてしまうなと思ったので、今日教えてもらった、詐欺に遭った時の対応～人に相談する、時系列や証拠をまとめる、ということをしかりと覚えておきたいです。
- ・今日の授業を受けて、詐欺の手口や怖さを知って、自分は関係ないと最初は思っていたけど、曾根田さんが言っていたたくさんの詐欺を知ったことでお金がどれだけ怖いかを再度確認できました。

2023.6.14(水).15(木)

美都を盛り上げたい

- ・実際に美都町のIターン農家藤原さんの農園にお邪魔して、動画や写真を撮影
- ・tiktok アカウントを作成し、動画編集、作成
- ・動画鑑賞

成果 実際の地元農家の方とタイアップして体験、広報活動をすることで、商品開発への意欲、課題を知ることができた。

なにより、自分たちでできることを考え始めるとう面をみてとることができた。

課題 動画編集には上達の余地があり、今後の特別授業で専門講師を招いて、よりクオリティの高いものを目指す必要性を感じた。

生徒の感想

- ・ 普段の授業で感じる事ができない体験ができた。
- ・ ゆずは普段は当たり前にあるものだと思っていたけど、時間もかかるし育てるのに時間もかかることがわかった。これを製品にしたいと思った。
- ・ 動画作成は大変だった。自分が思ったようにできないので、また専門的な人に習いたい
- ・ イチゴを使って何か作ってみたい。



【実践事例】…商品開発へ向けて

- チームビルディング
 1. CN より今年度の計画を発表
 2. チーム編成(6人4グループと3人1グループ)…2023年度の活動グループ
 3. マシュマロチャレンジ
 4. チーム名との今年度の目標設定



マシュマロパスタに挑戦中!!

チームの目標設定中!



講師：山本 了輔 氏

【松嶋 CN】

本で行うこと・・・益田市の課題の発見

なぜ課題の発見を行うか→・仕事は問題を解決することで、見合った対価を得られる

・対価には2種類ある→目に見えるものと目に見えないもの

↓

お金が代表的

↓

信頼、感謝など

問題解決は小さくて OK

信頼や感謝を獲得しながら少しずつ大きな問題を解決していこう

【山本氏】

・起業について考える

19歳で起業した経験から、もしあなたが良い商品を作成できたら会社を起こしてみよう

起業したきっかけ・・・自分の生まれた年代も関係してくる

阪神淡路大震災

就職超氷河期

良い大学に入れば良い人生が待っているという「嘘つき」な大人が多かった

現代は・・・8050 問題や異常気象を筆頭とした大変な時代を高校生は生きている

今日の話で少しでも自分で会社を起こすような気が起きてくれると嬉しい

ベンチャーとは

スタンフォード大学 経済学の講義にて ボランティア→マネタリーへ

ボランティアからお金を生み出すへ

起業の練習

事例①山本氏に実際あった依頼から

他の地域からたくさんの人に遊びに来てほしい（益田市）⇔大阪市との比較

石見津田に人を呼ぶには

生徒の意見・・・美味しいものを作る

公園を作る

海でイベント

バンジージャンプ

古民家の再利用

キャンプ場

お祭りをする

山本氏の実践・・・「海の家 RERIE」古民家の改築
島根県立大学生とコラボ
海フェス、サーフィンベースなど
経済効果 6,500 億円

事例②

島を豊かにしてほしい（フィリピンセブ島）
ヒント：島の人に喜んでもらうためにはどうしたら良いか
生徒の意見・・・掃除

壁を塗ったり、綺麗にしていく
水を良く使う（綺麗にする）
お店を作る
楽しいイベントを作る
一緒にものづくりをする（日常で使う皿や陶器など）
船を増やして釣りができるようにして漁獲量を上げる

山本氏の実践・・・他の島で見れないものを作ろう

「ISLAND ART」
壁に絵を描く→観光客の増加

経済効果 3,000 万円

西宮名塩小学校の児童の意見
水族館を作る
「バンダノンナジオ水族館（仮）」

経済効果 6,000 万円

「ナジオグラスボート」
船をくり抜いてグラスボートを作る

経済効果 計れない

- ・1%しか起業していない
- ・初めに入った会社を辞める確率 44.4%（高卒）
- ・何をやったか喜ばれるかを考えてほしい
- ・就職鬱になることがないように自分で考え、実践して行ってほしい

最後に…益田市の課題、あったらよいと思うものを各グループで考えて発表
次時…各グループ2つまでに絞って具体的に課題を考えていく

- 各グループによる益田市探訪
- 各グループによるバーチャルキャンパス作成
- 各グループによる SNS 媒体作成（YouTube・TikTok など）

- 目 的 益田市内の小・中学生へ向け明誠高等学校の特色ある教育を紹介する
- 場 所 島根県芸術センター(グラントワ)
- 概 要 明誠高校 VC としてメタバース内へ小・中学生を招待して VC がどのようなものなのかを体験してもらった
- 今後期待できる事項 明誠高校 VC 内でのイベントへの参加(体験入学、模擬授業、オンライン講義等)

イベントの様子





CN 不在以降

○ 令和4年度からともに今回の事業に携わってきた、松嶋CNの不在に伴い、当初計画を実施できる見込みが薄くなってしまう。

○ 当初計画変更に伴う変更案(2023VC 後期)

1. 目的

- ・地域企業、団体とコラボレーションすることで地域活性化に貢献したい
- ・産(企業・団体)・学(高校)・官(市・観光課)のいずれにおいても、Win-Win-Win を目指す(三方よし)
- ・企業は収益を生み出すことを想定しないといけませんが、その場合今回の企画は企業にとってマイナスになる可能性も含まれており、企業を巻き込むためには、打ち合わせの時間が少ない。また、これまでキャリアサポートとして関係性を築いてきた公民館活動を全くない状況にすることはマイナス要因であること。よってスタートの部分においては公民館+企業、団体の形式をとる方向

2. 益田市各企業、団体とのコラボ

<候補>

- ★石見神楽(津田社中ほか)、かぐラボ
- ・天心
- ・崇心
- ・栗栗コーヒー
- ・マスコス内サウナ、レストラン
- ・鉄板ダイニング Taishi
- ・肉の田村
- ・脇浦精肉店
- ★美濃商工会
- ★公民館(吉田、益田、安田、東仙道)

3. 構成案

※1 メニュー表の考案
ポスター作製
既存商品のパッケージ考案
※2 コラボ商品のクラスター上での販売

※内容について上記は案であり、何ができそうかは各公民館、団体との話し合いの中で決定することが好ましい

↓

※3 Tiktok、YouTube、インスタでの情報発信、宣伝

※宣伝動画などは必ず、学校、公民館、団体に確認をとってからアップする
マイナスイメージだけは避けること
ただし、人を惹きつける、楽しいものを前提に作成すること

↓

産・学・官の三方よし

※1 イラストの知識が必要な場合はイラストレーターの特別講義

※2 販売に関する知識を必要とする場合は、金融教育の特別講義

※3 情報発信の知識が必要な場合はインフルエンサーの特別講義

必要に応じた特別講義をその都度計画する。その場合は zoom を使用

- 松嶋 CN のあと、CN 代行の山本氏を中心に当初年間計画に少しでも近づけていくための話し合いを行い、上記(案)という形で進めていく方向となったが、実際に動き始めようとした際、企業や団体との折衝に割く時間があまりにもないという結論に至り、頓挫してしまった。企業や団体を巻き込んで活動を行うためには、商品開発や宣伝におけるメリットもあるが、逆に開発商品や宣伝によるデメリット(損害)のリスクを背負うことも頭に入れておかなければならず、これを解消するためには繰り返し協議の場を設ける必要があると考えられる。

よって、企業、団体を巻き込んだ商品開発については、本来 2023 年度の目標とするべきところではあるが、次年度への繰越の形となった。

そこで、山本 CN 代行より、2023 年度の残りの時間を生徒の心情の変化に与える影響の大きいものにシフトチェンジしていくという方針が出された。それに伴って 1 月以降以下のような実践を行うことになった。

【次年度へ向けての実践事例】

2024.1.22~3.6 全体授業

目的…オンライン授業を通じて、他国の人達と出会い、様々な価値観に触れる。

英語でのプレゼンテーションを通じて、自己の表現力、構成力などを高める。

zoom での授業を通じて、ICT の活用能力を高める。

授業テーマ

- ①自分の価値観を知り、深める
- ②他者の考え方や価値観に触れることによって、自分の考えと照らし合わせ、より深い認識につなげていく
- ②フィリピン人との交流を通じて、様々な価値観に触れる
- ③日本の文化や、特技を発表する過程を通じて、自己の表現力を身に着ける。

講師①

玉置梨絵 (たまきりえ) : コーディネーター

〈経歴〉

1978 年生まれ 東京都出身 薬剤師・キャリアコンサルタント

公立小学校を経て私立青山学院中等部入学。

その後、私立昭和大学薬学部へ進学。

大学時代に多国籍ボランティアに参加。(デンマーク、ポーランド、インド)

ボランティアの前後で 1 人旅という 1 か月ほどの旅を繰り返す。

大学卒業後は病院薬剤師として働きながら、国内外へ旅をする。

現在までに訪れた国は 40 か国ほど、渡航回数は 50 回を超える。

2011 年 3 月東日本大震災の数週間後に、青年海外協力隊でアフリカのマラウイに薬剤師として短期派遣。帰国後、岩手県陸前高田市にてボランティアセンター運営ボランティアに従事。その後、地元の西東京市社会福祉協議会にて、東北から避難してきた方の孤立化防止事業に携わる。

2015年よりコーチング業開始。

2019年～2023年NPO IMAGINUSのプロジェクトコーディネーターとしてフィリピンでの事業に携わる。

2023年“体験”と“自己対話”を広く世界に広めるためにNPO Megurie 設立。

〈現在〉

NPO法人 Megurie 代表

Spiral communication 代表

医療法人はまなす会 理事

〈実績〉

2015年～ 個人へ向けたライフコーチング及びコミュニケーション講座

2016年～2018年 医療者向けコミュニケーション講座

2018年 NPO 風小僧 企業研修

私立横浜創英学院・私立青山学院 職業講和

2019年 語学学校 Deti チームビルディング研修（フィリピン）

2021年 教師向けコミュニケーション講座

2023年 美光総合技術事務所 企業研修

ルミエール 医学部予備校生への個別コーチング

私立共立女子大 ワークショップ

公立川越中学校 職業講和

2024年 区立文京高校 職業講和

○小柳千秋（おやなぎちあき）：フィリピン現地コーディネーター

1973年生まれ 福島県出身 国家検定2級キャリア・コンサルティング技能士

短期大学卒業後、モデルやカナダでのワーキングホリデーを経験。

その後は教育業界での営業職、マーケティング色、IT業界での人事職に従事。

出産後、自身の初めての子育てに苦悩する中でアドラー心理学に出会い、子どもとの信頼関係を構築に取り組む。息子と共に3度のフィリピン親子留学を経験。

2021年mamma 設立。アドラー心理学をベースとした勇気づけ子育て講座、子育てコーチングを提供している、

〈現在〉

mamma 代表

○塚原愛（つかはらめぐみ）：オンライン業務サポーター

1987年生まれ 埼玉県出身

大学卒業し、ドラッグストアにて勤務。その後、様々な企業で事務職を経験。

現在、オンライン授業のサポートなどオンライン業務における全面的なサポート業務を行っている。

○備後貴子（びんごあつこ）：通訳

1980年生まれ 神奈川県出身 日本語教師

〈経歴〉

東京外国語大学院卒。インドネシア、ベトナム、カタール、UAEの初等中等機関、都内のインターナショナルスクールで外国語/第二言語としての日本語教育に携わる。

結婚出産を機にオンラインでの仕事を中心に活動。

○狭山智子（さやまともこ）：通訳

1976年生まれ 富山県出身 塾講師

〈経歴〉

大学在学中、ジンバブエでの国際workshopに参加。村の学校で教室を建築するボランティアに携わる。その後、1年大学を休学し、イギリスボランティアホリデーに参加。福祉関係の仕事しながら英語を学ぶ。またアメリカのNGOプログラムに参加し、ニューヨーク、ボストン、ワシントンDCなどでの募金活動及び、教育活動でモザンビークラメゴ村に一年滞在。大学卒業後は学習塾講師として、大阪、京都、富山で小学生から高校生を対象に教鞭をとる。

〈現在〉

富山県富山市の自宅で”わくわくの力を学びに”をコンセプトに、五感を大切にしたカリキュラムで学習塾を主宰している。

講師①

玉置梨絵（たまきりえ）：コーディネーター

小柳千秋（おやなぎちあき）：フィリピン現地コーディネーター

塚原愛（つかはらめぐみ）：オンライン業務サポーター

備後貴子（びんごあつこ）：通訳

狭山智子（さやまともこ）：通訳

【Megurie 担当授業】計 24 授業

* 選択授業

1月22日 講師 玉置梨絵・小柳千秋・塚原愛

授業内容 フィリピンと日本・きっかけからの流れ・先生や大人の人生ストーリーを聞く

1月22日 講師 玉置梨絵・小柳千秋・塚原愛

授業内容 自分のストーリーをシェアする

1月29日 講師 玉置梨絵・小柳千秋・塚原愛・Lyneth

授業内容 フィリピン1人との交流・フィリピン人へ質問

1月29日 講師 玉置梨絵・小柳千秋・塚原愛・Lyneth

授業内容 フィリピン人の暮らし・お家ツアー

2月5日 講師 玉置梨絵・塚原愛・James

授業内容 画面越しに一緒に遊ぶ

2月5日 講師 玉置梨絵・塚原愛・James

授業内容 人から見た自分の才能・才能ショーで何をプレゼンするか決める

2月13日 講師 玉置梨絵・塚原愛

授業内容 全員が関わるプレゼンを作成

2月13日 講師 玉置梨絵・塚原愛

授業内容 画面での見え方を意識したプレゼン練習

2月26日 講師 玉置梨絵・塚原愛・James

授業内容 画面での見え方を意識したプレゼン練習

2月26日 講師 玉置梨絵・塚原愛

授業内容 プレゼン発表

3月4日 講師 玉置梨絵・塚原愛・小柳千秋・Arnold・Santos

授業内容 正解はない！ただ楽しむ！フィリピン人と ZUMBA を踊る

3月4日 講師 玉置梨絵・塚原愛・小柳千秋

授業内容 振り返りワーク・自分の価値観を見つける

*キャリアサポート授業

1月24日 講師 玉置梨絵・塚原愛・小柳千秋

授業内容 先生や大人のこれまでの人生ストーリーを聴く・自分の人生を見える化

1月24日 講師 玉置梨絵・塚原愛

授業内容 2人組で人生ストーリーをシェア

2月2日 講師 玉置梨絵・塚原愛

授業内容 言葉を掘り下げ相手を知る

2月2日 講師 玉置梨絵・塚原愛・小柳千秋・狭山智子・Weng・Kalia・James

授業内容 フィリピン人と交流・フィリピン人へ質問

2月7日 講師 玉置梨絵・塚原愛・小柳千秋・狭山智子・Weng・Kalia・James

授業内容 フィリピン人からの質問

2月7日 講師 玉置梨絵・塚原愛

授業内容 フィリピン人の趣味&伝えたいことのバランスを考えプレゼン内容を決める

2月14日 講師 玉置梨絵・塚原愛

授業内容 チームとしてプレゼンで何を大切にしたいかを決める

2月14日 講師 玉置梨絵・塚原愛

授業内容 役割を決める・プレゼンを作成&練習

2月27日 講師 玉置梨絵・塚原愛・小柳千秋・Weng・Kalia・James

授業内容 プレゼン発表

2月27日 講師 玉置梨絵・塚原愛・小柳千秋・Weng・Kalia・James

授業内容 プレゼン発表

3月6日 講師 玉置梨絵・塚原愛

授業内容 職業講和・価値観を満たす仕事であれば何でもいい・価値観を見つけるワーク

3月6日 講師 玉置梨絵・塚原愛

授業内容 振り返りワーク・自分の価値観を見つける

【Megurie 打ち合わせ】

打ち合わせ 計 27 回

1月15日 参加者 明誠高等学校・玉置梨絵

- 内容 スケジュールと内容共有
- 1月17日 参加者 小柳千秋・玉置梨絵
内容 フィリピンオンライン環境確認
- 1月19日 参加者 小柳千秋・玉置梨絵
内容 フィリピン人への授業内容説明
- 1月18日 参加者 Weng・玉置梨絵
内容 フィリピン人への授業内容説明
- 1月18日 参加者 明誠高等学校・玉置梨絵
内容 講師と明誠担当教師顔合わせ・オンライン環境確認
- 1月19日 参加者 小柳千秋・玉置梨絵
内容 通訳としての心得・画面設定確認
- 1月19日 参加者 備後貴子・玉置梨絵
内容 通訳としての心得・画面設定確認
- 1月20日 参加者 塚原愛・玉置梨絵
内容 画面設定・オンライン環境確認
- 1月22日 参加者 塚原愛・玉置梨絵
内容 音源共有設定の確認
- 1月22日 参加者 小柳千秋・玉置梨絵
内容 フィリピン人お家ツアーの導線確認
- 1月23日 参加者 塚原愛・玉置梨絵
内容 スマートフォンと連動した場合の画面設定確認・録画用の画面の表示確認
- 1月23日 参加者 小柳千秋・玉置梨絵
内容 環境が停電時の対策（自家発電を持つ近くのリゾート確認など）
- 1月23日 参加者 明誠高等学校・塚原愛・玉置梨絵
内容 明誠高校側の画面設定共有・確認
- 1月23日 参加者 Weng・Kalia・玉置梨絵
内容 授業内容・留意点（通訳が入るため話す間隔をあけるなど）
- 1月29日 参加者 明誠高等学校・塚原愛・小柳千秋・玉置梨絵
内容 フィリピン人お家ツアーの音源共有確認
- 1月29日 参加者 Weng・Kalia・玉置梨絵
内容 授業内容・留意点（通訳が入るため話す間隔をあけるなど）
- 1月29日 参加者 明誠高等学校・塚原愛・備後貴子・玉置梨絵
内容 授業内容修正点共有・意見交換
- 1月29日 参加者 塚原愛・玉置梨絵
内容 音源共有設定確認
- 2月2日 参加者 備後貴子・小柳千秋・塚原愛・玉置梨絵
内容 各クラス担当におけるブレイクアウトルームでの留意点・画面確認
- 2月3日 参加者 備後貴子・塚原愛
内容 授業内容確認・通訳の留意点
- 2月4日 参加者 狭山智子・玉置梨絵
内容 授業内容確認・通訳の留意点
- 2月4日 参加者 塚原愛・玉置梨絵

内容 画面設定のフィードバック・次回画面設定確認

2月22日 参加者 塚原愛・玉置梨絵

内容 Zumbaの音源共有&現地のインストラクターの音声声が聞こえる設定確認

2月27日 参加者 塚原愛・小柳千秋・玉置梨絵

内容 Zumbaの音源共有&現地のインストラクターの音声声が聞こえる設定確認

3月6日 参加者 塚原愛・玉置梨絵

内容 動画再生の音源共有確認設定&画面の見え方設定

3月7日 参加者 明誠高等学校・玉置梨絵

内容 アンケート回答を元に振り返り

3月7日 参加者 明誠高等学校・玉置梨絵

内容 全体の授業振り返り・来年度の授業計画話し合い

玉置梨絵：授業ファシリテーター

塚原愛：機器担当（画面切り替え・音響・録画編集）

小柳千秋：フィリピン現地コーディネーター

備後貴子：通訳

狭山智子：通訳

Lynneth Merchdo：フィリピン人ゲスト

Weng Tubaga：フィリピン人ゲスト

Kalia Mabansag：フィリピン人ゲスト

Eric James：フィリピン人ゲスト

Arnold Iddings：フィリピン人ダンサー

Santos Jean：フィリピン人ダンサー

4. (1)目標に対する成果

授業全体を通して(目標に対する成果と課題)

当初計画の枠の中で考えると、商品開発へ向けて、計画、実行のための目標を立てることができた。オンライン講義も、そのことを念頭に取り組む姿勢は昨年度に比べ向上しているように感じる。事業そのものの影響と生徒の心の成長が上手く合致しているように見受けられた。CN 代行後の混乱の中でも生徒は「次は何をするんですか」といった前向きな発言が多くあり、勇気づけられるとともに、教員側には大きな反省であった。

実践事例全体についての目標に対する成果

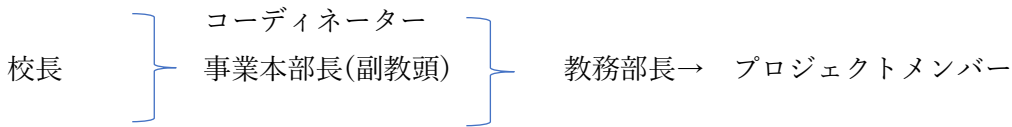
- ・ 質問事項を自ら考える
 - ・ 自ら進んで授業に参加する
 - ・ 自らの悩みと重ね合わせる
 - ・ 質問に対する講師の答えにヒントを得て、自らの答えを考える
 - ・ 授業に対する興味、関心が 2022 年度とは比較にならないほど旺盛になった
 - ・ 新製品の開発に向けた生徒の意欲は高く、話し合いの中で提供できる商品、サービスを考えることはできた
 - ・ クラスターへの変更により、通信性能が向上し全国各地で活躍される講師の講義をスムーズに受けることができた
 - ・ 講義を TikTok、YouTube などの SNS で配信することでより多くの方の目にとまっていく可能性が出た
 - ・ 小学生向けイベントなどの開催により 2023 年度よりは周知も活用も可能性が出てきた
- 生徒の自尊感情の向上
能動的な学習姿勢の構築
- 新製品の開発
- プラットフォームの開発
- 広く周知する
- 広く利用してもらう

実践事例全体についての目標に対する課題

- ・ 生徒の成果は数多く見受けられたが、教員(運営側)には課題だらけの年度であった。CN 代行の混乱をうまく乗り越えることができず、計画とは全く違った方向性になってしまった感は否めない。生徒の意欲に助けられ、改めて、今後自走していくためには、校内体制の整備や教員のスキルアップを早急に図っていく必要性が浮き彫りとなった。

年間を通した学校現場における成果と課題

2023 年度事業運営組織(当初)



2023 年度事業運営組織(CN 不在後)



対策 2024 年度は新たな組織体制の構築と、万が一欠員が出て現場が混乱しないための体制を考えていく

(2)2023 年度総括

当初、2022 年度の反省から 2023 年度の年間計画を立て、6 月までは順調すぎるほどの進捗状況であった。しかし、全国的なインフルエンザの大流行を受け、本校も例にたがわずインフルエンザが大流行してしまい、計画が頓挫してしまった部分がある。

さらに、6 月 22 日をもって本校コーディネーターが不在となり、計画の変更を余儀なくされた部分が大きく

影響した結果となっている。少しでも目標に近づけるよう講師の手配や授業の構成等考えてみたものの、目標には大きく届かなかったと考えられる。

最終年度に当たる 2024 年度は以下に大まかに示した計画を遂行できる体制で臨んでいく必要があると痛感している。学校生活の中に VC を落としていき、その中で産物を生み出していく仕組みを実践できればと考えている。生徒自身の成長を感じる場面も数多くあったにもかかわらず、本来、2023 年度に到達していくはずであった目標に大きく届かなかったことは大いなる反省である。

5. 次年度計画について

3 ヶ年指定の 3 年目にあたり、生徒の心情の変化が見てとれるだけでなく、成果物として見える形として製品、サービスを提供できるようにする

1. VC 特別授業(専門講師を VC 内に招待)
2. 課外活動(企業、農家、公民館等との連携)を中心とした地域資源の産業化(新製品、サービス、仕組みの開発地元産業への貢献)
3. 3 ヶ年における生徒の心情変化を読んで取れる活動
4. VC の実用化による VC 内での活動(販売、提供)

【番外講演】 全校生徒対象

2023年5月26日(金) 1限～3限

於：明誠高等学校体育館ほか

講師 NPO 法人 MASA FREE SCHOOL 代表

寺本 真将 氏

(経歴・略歴)

1989年 熊本県出身

大学卒業後、タイに旅行に行った際に多くのストリートチルドレンに出会い衝撃を受け、世界中の貧困地域を訪れたいと決意。

その後「こどもの貧困」をテーマに世界中の貧困地域を訪れる。訪れた国は約60か国

帰国後、NPO 法人 MASA FREE SCHOOL を設立。インドにフリースクールとチャリティーレストランを建設し、学校に行きたくても行けない子どもたちの為に無償で教育を提供している。

去年はウクライナにも訪れ、教育が止まった避難民に教育支援を行う。

日本国内では講演活動を通して、全国の小学校から企業まで訪れ、世界の貧しい子どもたちの生き方や環境などを伝えている。

HP : <https://www.masashiteramoto.com/>

Instagram : https://www.instagram.com/masashi_teramoto

(テーマ) ～メタバースを融合させた特別講演会と写真展「世界の子どもたち」～

生徒の反応(写真で振り返る)

生徒の反応としては、感動的であったという意見が大半であった。









2023 年度 文部科学省創造的教育方法実践プログラム成果報告
(3D メタバースを活用したバーチャルキャンパス)

学校法人益田永島学園 明誠高等学校

□はじめに

本事業は、本学で 2019 年度から取り組んでいる『しちやるラボ』を発展させていくことが最大の目的である。『しちやるラボ』とは、生徒が主体となり、地域の社会人や活躍する卒業生との交流から地元益田市の家庭料理を発掘、料理本制作を行うプロジェクトである。本事業へ継続させることにより、料理の側面のみならず、過疎地におけるまちづくり、魅力ある地域づくりに寄与できるものと考え、昨年度から事業に取り組んできた。

昨年度は、2D メタバースを利用し、仮想空間に多くの講師をお招きし、生徒が自身の学びたい教室で積極的に、また能動的な学習態度を醸成できるように事業組み立てを行った。生徒が学んでみたい内容を教えることができる先生を全国から、本事業のコーディネーターが探し出し、仮想空間の教室で授業を展開してもらうことは、全国の中山間地域の問題でもある、「教育的リソースに物理的にアクセスすることが困難である」という問題に対して解決できるとともに、学校現場が持っていない専門的知見を集積することに成功した。そして何よりも、生徒の自尊感情の向上、能動的学習姿勢の構築に対して有意であることを統計的に証明できたことである。本事業の最大の目的であるこうした生徒の内面的成長は、本年度においても大きく育み、また昇華させていくべきであると考えている。

□目的

昨年度、醸成することに成功した自尊感情の向上と、能動的学習姿勢に対して、それをなお一層上昇させることはもちろんであるが、都市部から遠く離れる中山間地域の学校の共通課題である「物理的困難さ」を、IT の力を最大限発揮することにより解消させ、教育的意義を大きく持つ授業手法の開発を構築することを目的とする。

本事業に取り組む当該学年の実態	<p>本事業の当該学年として、昨年度本事業の対象になった本校普通科 2 年生 106 名を抽出した。入学してからの 1 年生の実態として、授業、特別活動、その他学校の教育活動全般にわたり、受動的な態度の生徒が多いことが通例であったら、昨年の本事業の効果により、能動的な学習態度が見られるようになった。</p> <p>本事業において、引き続き受講を望む声が多くあったこと、また本事業を 3 年間通じて受講してもらうことでの効果測定を行うことが、本事業を全国的に紹介する際に大きな意味を持つと考えたからである。</p>
-----------------	---

□目標

目 標	目 標 設 定 の 理 由
生徒の自尊感情の向上 能動的な学習姿勢の構築	昨年度と同様に、本事業に取り組んでいる指標として、自尊感情の向上、能動的な学習姿勢の構築を目指す。地域社会との連動により、さまざまな課題や問題を解決、また新たな価値を見出すことで、能動的な学習姿勢の構築と自尊感情はなお一層向上すると考えているためである。
コーチングによるセルフプロデュース力の醸成	能動的学習態度には、授業を受講するという受動的な態度だけではなく、コーチングの手法にある「セルフプロデュース力」を身に着け、自身の選択に自信を持ち、本事業の意義を高めるものであると考えているからである。
新製品の開発	多様な資源とつながることで、地元産業に貢献しうる線製品を開発する。
プラットフォームの開発	昨年度は2Dメタバースを導入していたが、本年度は3Dメタバースを導入することにより、より具体的に体感してもらうことに努める。
広く周知する	昨年度同様、学校と地域社会との連動によって生まれた価値や課題を広く周知することにより、多くの地域で役立ててもらう。
広く利用してもらう	昨年度同様、プラットフォームを本学のみが利用するのではなく、離島や中山間地域において必要とする子どもたちすべてに展開する。

□実施内容について

<事前打ち合わせ内容>

● 事前授業のあり方について

1+2+3 コマ (3 コマをトータル 135 分で授業構成 先生が時間配分をする)

- ① 講師紹介 (15 分×3=45 分) ② 事前指導
- ③ 講師さんの職業を生徒の生活につなげる話 ④ 授業内容の説明
- ⑤ MC、質問者の決定 ⑥ 授業選択アンケート

● 授業選択アンケートについて

説明前後にアンケートをそれぞれ実施し、変化を見る検証をする

● 授業構成について

前年度 生徒が授業内容をリクエスト CN と講師と担任が調整して実施

今年度 MC は教員 質問は生徒

質問は、LIVE の質問+事前の質問を織り交ぜる

講師に質問したり直接評価をしてもらったり、接点がある方が生徒の反応がいいという

昨年度の結果に基づいて。

<授業ガイダンス>
今年度の授業についての全体ガイダンスの実施。授業内容の希望の収集やメタ

バースの捜査等の説明。

4月17日 第一回ガイダンス

3・4・5 時間目

4月19日 第二回ガイダンス

5・6・7 時間目

校 時	内 容
1 時限 (45 分) 教室	① 担任から生徒に対して、昨年度の取り組んだ特別授業の確認を行う ② 担当した特別授業の様子や生徒の様子を振り返る話をする ③ CN から提供された写真や URL を活用して、講師さんの「今」や特別授業後も明誠と繋がりを持っていることを紹介する (上記①②③は、生徒が振り返りシートの記入をスムーズに行えることを目的とした内容とする) ④ 振り返りシートを記入させる ※ 記入が終了した生徒から提出させ、内容のいいものをピックアップする (3 つ) ※ ピックアップしたものは、6 校時の振り返り発表で発表する
休憩 (10 分)	教室から M ラボに移動する ※ 前時中にピックアップが間に合わなかった場合は、この時間中に行う
2~3 時限 (90 分)	① 振り返りシート発表 (15 分) ※ 発表は、選ばれた生徒が自ら発表する

	<p>※ 選ばれた生徒が発表することに強い抵抗感を持つ場合は、担任が代読する</p> <p>※ 前年度の取り組みから、内容のいい意見や感想をもつ生徒の発表を聞くことで、今年度の活動に繋げる</p> <p>② CNによるガイダンス（20分）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今年度の取り組みの説明 <p>③ 事後授業のプレ発表資料作成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・例として、前年度の特別授業の事後授業を教員が行う（20分） <ul style="list-style-type: none"> キーノートを用いた事後授業 パワーポイントを用いた事後授業 対話のみ または ワードを用いた事後授業 ※ どの特別授業を題材にするかは、それぞれの教員に任せる ・他己紹介資料の作成（35分） <ul style="list-style-type: none"> ※ 「他己」は、友達でも好きな芸能人でも誰でもよい ※ 4～5人の小グループを作りグループ内で発表を行うことで、全員が取り組むことができる
--	---

<授業の開始>

□キャリアの授業

1：授業内容

「各地域の特産品を使った新しい名産を作る」

「各地域の名勝から新しいツアー、イベントを作る」



2：学年のグループ分け

	各地域の特産品を使った新しい名産を作る		各地域の名勝から新しいツアー、イベントを作る
1	農作物	1	西部
2	水産物	2	東部
3	陶芸などの加工物	3	南部
4	その他の技術	4	中心部

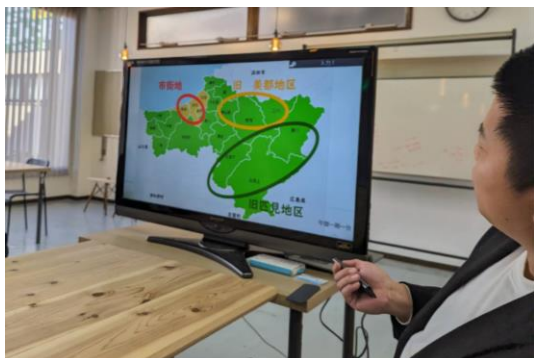
3：スケジュール

5月8日

- ・チームビルディング：マシュマロパスタ（パスタ、マシュマロはCNが用意。その他は学校が用意）
- ・各チームに分かれる：チーム名、モットーを決める

5月15日

- ・益田市の課題の確認：山本理事が授業を実施→商品化、サービス、仕組みを考案。



5月22日

- ・2回目の授業で出た内容をつめる：教員とCNのサポートが必須



6月5日

- ・事前に協力してもらえそうな企業等をリストアップし、それを提示。
- ・どうやってアプローチするかを考案：例) 電話、SNS、友人知人、先生、CN など



6月12日

- ・事業計画の考案：大まかなスケジュールや内容

6月26日

- ・アプローチ実践
→訪問する企業のアポ取り。訪問日時の設定。

9月11日

- ・企業訪問、事業説明
→全6事業の事業計画を、関連性の高い6社に向けて説明

9月25日

- ・企業に来校してもらい会議

<10月>

10月16日

- ・新商品開発に向けた会議（3D オンラインを使って）



日程	時限	内容	備考
18日	5	「各地域の特産品を使った新しい名産を作る」 「各地域の名勝から新しいツアー、イベントを作る」ことの大切さの説明	
	6	グループ分け（※この時は役割を与えず）し、 どういったものがあったらよいか議論する	
	7	生徒の発表	発表内容に沿って次回グループに対しての役割を発表する。

日程	時限	内容	備考
25日	5	グループの役割発表 役割から今後の事業計画の作成	事業計画の作成の仕方の指導
	6	事業計画の作成	

		グループ名とグループのリーダーを決定	
	7	事業計画の途中発表	

10月30日

- ・新商品開発に向けた会議

<11月>

日程	時限	内容	備考
1日	5	事業計画の作成	
	6	事業計画の作成	
	7	授業計画の完成と発表	発表された事業計画を先生方で微修正 事前ロビイングを行う

日程	時限	内容	備考
8日	5	事業計画の修正確認	
	6	関係団体や関係者への面談申し込み	先生方のフォロー、ロビイングが必要(※)
	7	事業計画の説明の台本作りとその発表	

11月13日

- ・企画提案書の作成

日程	時限	内容	備考
15日	5	現地調査	
	6	現地調査	
	7	現地調査 29日のオンライン授業講師依頼を生徒からキーマンに打診させる	講師依頼所はこちらで用意しておく

日程	時限	内容	備考
22日	5	調査内容の発表	
	6	調査内容を受けて提案書の作成	
	7	調査内容を受けて提案書の作成	

11月27日

- ・企業へのプレゼン

日程	時限	内容	備考
29日	5	提案書の作成	
	6	オンラインで現地講師とつなぎ提案書について意見を求める	オンライン
	7	意見を受けて提案書の修正	

<12月>

日程	時限	内容	備考
6日	5	提案書の完成	
	6	関係団体や関係者への13日面談申し込み	
	7	13日面談の台本作り	

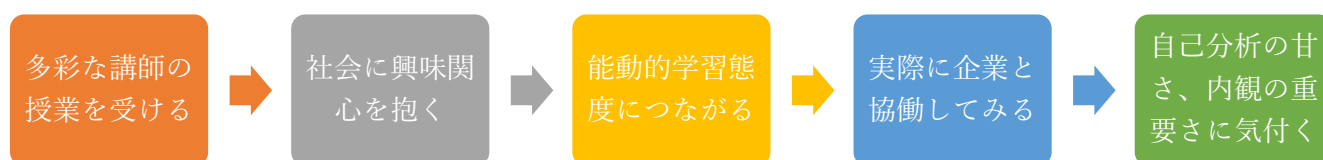
日程	時限	内容	備考
13日	5	現地での提案書の説明	
	6	現地での提案書の説明	
	7	現地での提案書の説明で頂いた意見の集約	

日程	時限	内容	備考
20日	5	意見を集約した提案書の訂正	
	6	商品開発	
	7	商品開発	

さらなる価値を求めて

「生徒の内面の気づき、内観をはぐくむ」

企業との協働を通じて、生徒が気付いた自己分析の甘さや、内観する機会の少なさに対して、生徒から自発的に「内観する機会を持ちたい」という声が上がった。前期のキャリア教育を通じて気付かせる結果となった。



そうしたことから年明けからは、彼らが社会へ出る前に、バーチャルキャンパスで学んだことを自身の人生にどのように生かしていくのかといった「内観力、客観視野の醸成」という授業目標に変更した。

1月22日 きっかけを共有する

- ・先生が明誠高等学校に入ったきっかけを聞く
- ・決められた質問に沿って2人組で自分たちが明誠高等学校に入ったきっかけやこれからの未来、憧れの人からのアドバイス、未来に向けての行動について共有する
- ・フィリピン滞在中の小柳千秋さんのフィリピンに滞在したきっかけを聞く



〈質問〉

明誠高等学校に入るきっかけは？

入った当初について聞かせてください

環境について

良かった点と残念だった点は？

人との関係について

良かった点と残念だった点は？

当初から今日にいたるまでは

どうですか？

この先卒業まで
どうなったらいいと思いますか？

それが叶ったら
その先はどうなりそうですか？

突然ですがあなたの理想の人 or
尊敬する人は誰ですか？
(身近な人でもOK)

もしその人から叶えるための
アドバイスがあるとしたら
何でしょう？

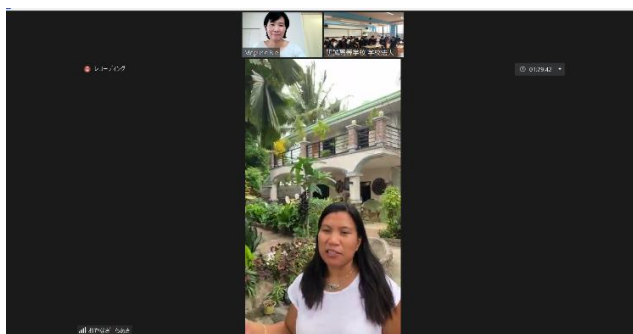
ここまで話してみて

感じたことは何ですか？



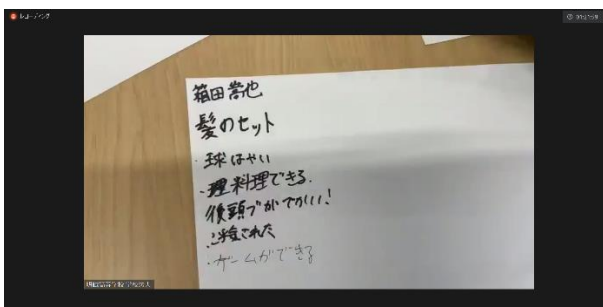
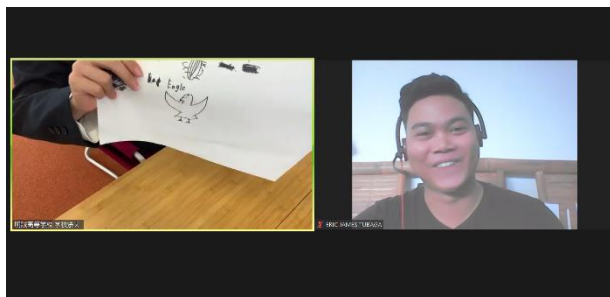
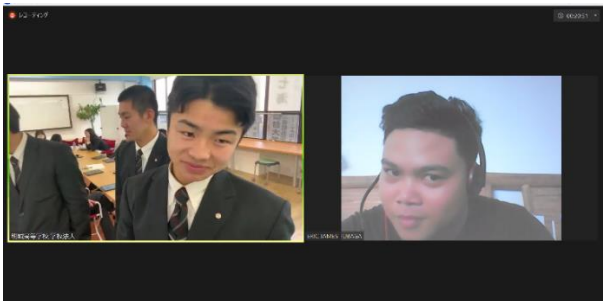
1月24日 民泊のホストであるフィリピン人リンとの交流

- ・事前に準備した英語の質問をする
- ・オーストラリア在住でフィリピンと行き来しているリンの人生を知る
- ・リンのお家ツアーを画面越しに体験



1月29日 ジェームスと画面越しに遊ぶ

- ・ジェームスらしさ（個人）を知れるような質問をする
- ・画面越しにフィリピン人ジェームスとクイズで遊ぶ
- ・1人ずつの才能に対して、グループ内でシェアする



2月2日 プレゼン準備

- ・ジェームスの願いであるタレントショーに向けてプレゼンを作る
- ・チームでどの才能を表現するかを決める

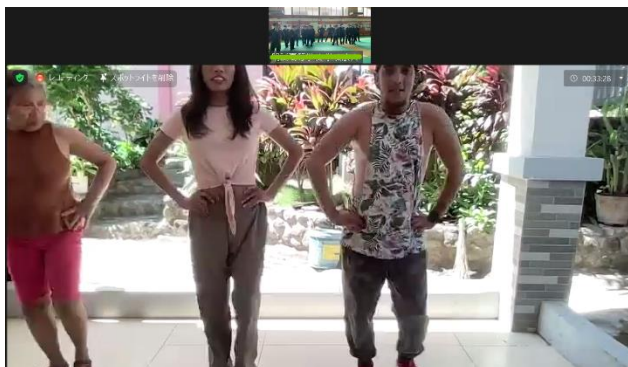
2月5日 プレゼン練習&発表

- ・3チームで必ず1人ずつ話し6分で発表（リフティング/マジック/動画作成）
- ・フィリピン人からのフィードバック



2月7日 画面越しにダンスを楽しむ・自己の価値観を知る

- ・ ZUMBA トレーナーの2人と ZUMBA を画面越しに踊る
- ・ これまでの授業を振り返り自分の価値観を知る

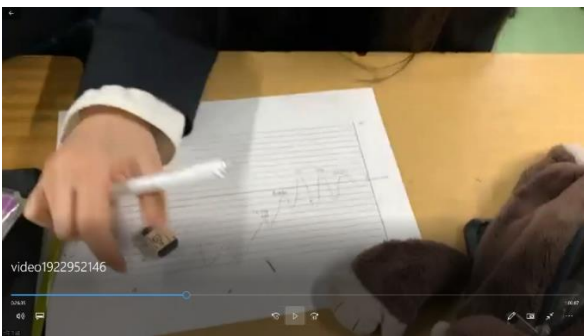
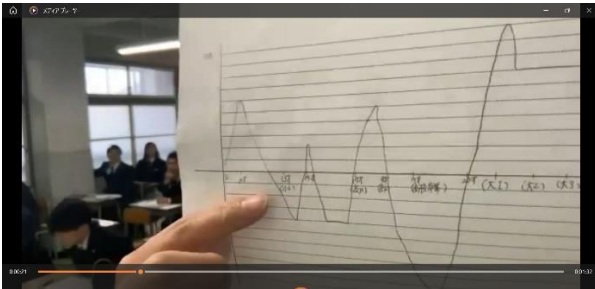


【私の価値観～選択授業～】	
DAY1 前半 Rie/Chiaki/Nago先生 仕事のきっかけStory	
楽しかった・嬉しかった・面白かった・好き	悲しかった・残念だった・つまらなかった・嫌い
⇩	⇩
後半 明誠に入ったきっかけStory	
楽しかった・嬉しかった・面白かった・好き	悲しかった・残念だった・つまらなかった・嫌い
⇩	⇩
DAY2 前半 リンに質問してみよう	
楽しかった・嬉しかった・面白かった・好き	悲しかった・残念だった・つまらなかった・嫌い
⇩	⇩
後半 リンのお家ツアー	
楽しかった・嬉しかった・面白かった・好き	悲しかった・残念だった・つまらなかった・嫌い
⇩	⇩
DAY3 前半 Jamesとゲーム	
楽しかった・嬉しかった・面白かった・好き	悲しかった・残念だった・つまらなかった・嫌い
⇩	⇩

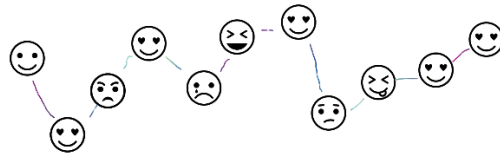
【私の価値観～選択授業～】	
DAY3 後半 周りの人が思う自分の才能&Talent show の内容を考える	
楽しかった・嬉しかった・面白かった・好き	悲しかった・残念だった・つまらなかった・嫌い
⇩	⇩
DAY4&DAY5前半 プレゼン練習 (①マジック②リフティング③動画)	
楽しかった・嬉しかった・面白かった・好き	悲しかった・残念だった・つまらなかった・嫌い
⇩	⇩
DAY5 後半 プレゼン発表	
楽しかった・嬉しかった・面白かった・好き	悲しかった・残念だった・つまらなかった・嫌い
⇩	⇩
DAY6 前半 アーノルド&ジントみんなでZUMBA♪	
楽しかった・嬉しかった・面白かった・好き	悲しかった・残念だった・つまらなかった・嫌い
⇩	⇩

2月13日 人生の波を知る

- ・人生の浮き沈みが見える化
- ・担任の先生の意外な人生を知る
- ・自分の人生の波も描き自己を振り返りシェアする



1日の中でも波がある それって自然なこと



日々何度も
人生でも何度も回復している
回復力は既にある

2月14日 言葉を掘り下げる・フィリピンと繋がる

- ・“最近よかったこと”をテーマに二人組で話す。聞く人は気になった言葉に対して“〇〇っていうのは？”を繰り返して聞いていく
- ・事前に自由に質問を1人1つ英語で考えておく
- ・1クラスに1フィリピン人を配置して1人ずつ画面越しに質問

“最近嬉しかったことは？”3分間

〈話す人〉
1文話し終わったら
相手の次の質問を待つ

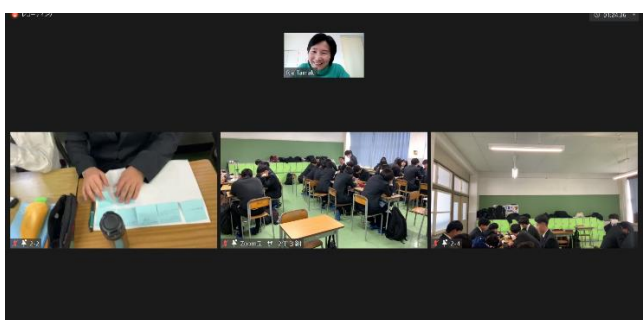
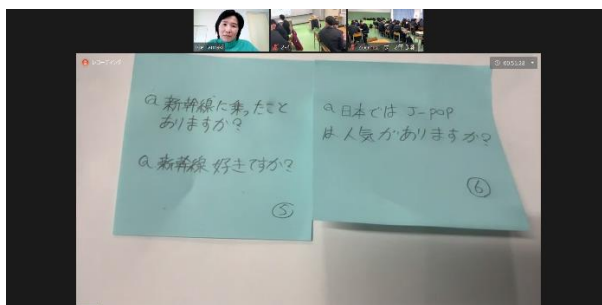
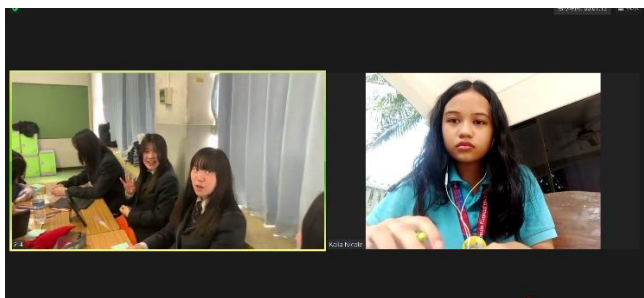
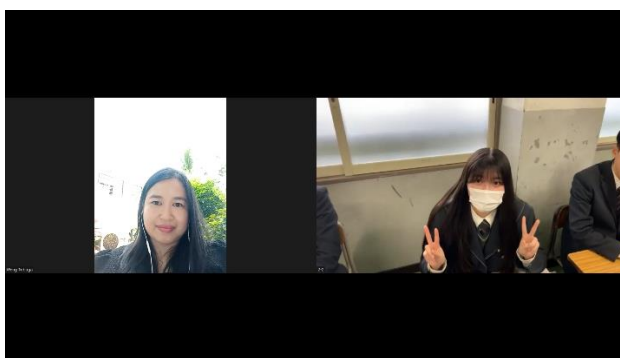
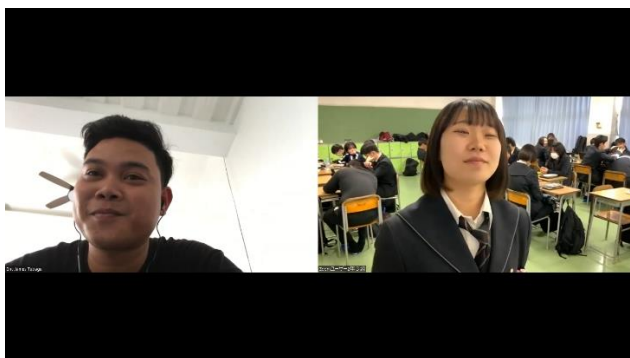
〈聴く人〉
相手の話の中の1単語を使って
“〇〇っていうのは？”と聞き返す



2月26日 フィリピン人の興味を知る

- ・フィリピン人からの質問に日本語で答える
- ・フィリピン人の質問からその人が何に興味を持っているか推測する

・自分たちが伝えたいことと相手の興味のバランスでプレゼン内容を決める



2月27日 プレゼン準備

・相手の興味と自分たちが伝えたいことから、プレゼンの流れや時間などに沿って作る

この授業は…

私たちがフィリピン人に伝える
～自分たちを表現する～

2月27日プレゼンテーション発表！
前半5チーム 後半4チーム
明誠のSNSに投稿されるかも！？



3月4日 プレゼン発表

- ・1チーム3分×9チームがフィリピン人に我慢越しにプレゼン発表する
 (日本の四季/日本の川/日本の文化/お正月/日本の食文化/日本の観光地/日本の料理/
 日本のコンビニエンスストア/ジブリ作品)
- ・チームごとにフィリピン人からフィードバックコメントをする





3月6日 価値観からキャリアを創る・授業の振り返りから自己価値観を知る

- ・オンラインでコーディネートしていた玉置がキャリアについての対面授業をする
- ・これまでの授業を動画で振り返り、自分の価値観を探る

どんな仕事でも大丈夫
～自分の大切なものを大切に～
2024.3.6
NPO Megurie 薬剤師 キャリアコンサルタント
玉置梨絵

〈後悔しないために〉

「自分」が理由で決めよう。

仕事はなんだっていい♪

正解はない。

世の中はどんどん変わっていく。

仕事も今までなかったものがどんどん出てくる&1つじゃなくていい!

Imagine ♪

あなたは試験も突破してなりたい職業に就くことが出来ました!!
おめでとう!!

ある日「あ～嬉しいなあ。やっぱりこの仕事で良かったなあ。」と
思っています。

その1場面を思い浮かべましょう。5W1Hでイメージしてみよう。

その何がいいのでしょうか?

思い出そう♪ 共通点はなんだろう?

好きな時間はどんなとき?

夢中になったことはどんなこと?

人から感謝されたことはどんなとき?

キャリアサポートワークシート

2024.3.6

2年 組 番 名前: _____

<なつてみた職業>

〃

<場面>見える風景を書く ヒトモノコト……

〃

〃

<好きな時間>

〃

〃

<夢中になったこと>

〃

〃

<人から感謝されたこと>

〃

〃

全ては変わりゆく 自然の摂理 そこに意味はない 意味をつけてもいい

その群像自分の価値観・大切にしているものを感じて夢もう 道は未知

キャリアサポートアンケート

2024.3.6

2年 組 番 名前: _____

・あなたの夢は何ですか?

〃

・その夢のステキなところは?

〃

・オンラインでどこにでも繋がれるとしたら、誰に、どこに繋がりたいですか?

〃

・それはなぜですか?

〃

・もしあなたが授業をやるとしたら、どんな授業をしますか? (オンライン授業も)

〃

・その授業の何が素敵なところでしょうか?

〃

・明誠高等学校のよいところは?

〃

・明誠高等学校がさらによくなるためにどんなアイデアがありますか?

〃

・あなたが校長先生だったら、まずどんな課題に取り組みますか?|

【私の価値観～キャリアサポート～】		【私の価値観～キャリアサポート～】	
DAY1 前半	Rie/Chieki/先生たちの人生の道を聞く＆自分の人生の道を描く	DAY2 後半	相手の興味と自分たちが伝えたいことのバランスでプレゼン内容を決める
楽しかった・嬉しかった・面白かった・好き	悲しかった・残念だった・つまらなかった・嫌い	楽しかった・嬉しかった・面白かった・好き	悲しかった・残念だった・つまらなかった・嫌い
⇩	⇩	⇩	⇩
後半	人生の道を2人組で共有	DAY3 プレゼン練習	相手の興味と自分たちが伝えたいことのバランスでプレゼン内容を決める
楽しかった・嬉しかった・面白かった・好き	悲しかった・残念だった・つまらなかった・嫌い	楽しかった・嬉しかった・面白かった・好き	悲しかった・残念だった・つまらなかった・嫌い
⇩	⇩	⇩	⇩
DAY2 前半	“最近の良かったことは？”と“っていいのは？”で相手のイメージを知る	DAY4 プレゼン発表	相手の興味と自分たちが伝えたいことのバランスでプレゼン内容を決める
楽しかった・嬉しかった・面白かった・好き	悲しかった・残念だった・つまらなかった・嫌い	楽しかった・嬉しかった・面白かった・好き	悲しかった・残念だった・つまらなかった・嫌い
⇩	⇩	⇩	⇩
後半	クラスごとにファミリーゼン人に質問 (Mrs & Jones & Kelly)	DAY6 前半	仕事はなんてでもいい～自分の大切なことを大切に～
楽しかった・嬉しかった・面白かった・好き	悲しかった・残念だった・つまらなかった・嫌い	楽しかった・嬉しかった・面白かった・好き	悲しかった・残念だった・つまらなかった・嫌い
⇩	⇩	⇩	⇩
DAY5 前半	ファミリーゼン人に“相手の興味を知ることが出来るような”質問＆回答を付箋に記録	(2024年3月6日 私のたった今の価値観)	
楽しかった・嬉しかった・面白かった・好き	悲しかった・残念だった・つまらなかった・嫌い		
⇩	⇩		



□事業分析

本事業アンケートは 2023 年 6 月 7 日と、2024 年 3 月 6 日の 2 回実施している。

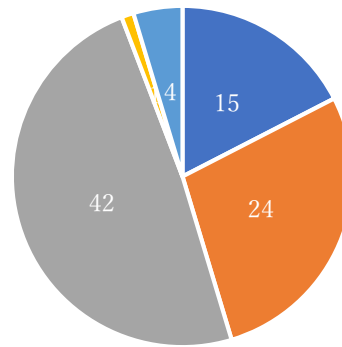
1. 単純集計

Q2. 自分の欠点や能力のなさを無条件で受け入れられるとしたら、今の行動に変化は起きると思う

○ 自分の弱点を受け入れ、前向きに行動しようとする生徒が増加し、半数を超えた。

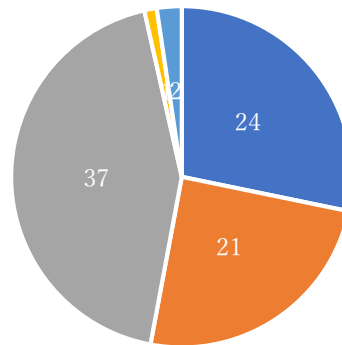
【6月7日分】

	度数	割合
5 よくそう思う	15	17.4%
4 そう思う	24	27.9%
3 普通	42	48.8%
2 思わない	1	1.2%
1 よくそう思わない	4	4.7%
合計	86	100.0%



【3月6日分】

	度数	割合
5 よくそう思う	24	28.2%
4 そう思う	21	24.7%
3 普通	37	43.5%
2 思わない	1	1.2%
1 よくそう思わない	2	2.4%
合計	85	100.0%



■ 5 よくそう思う ■ 4 そう思う ■ 3 普通
■ 2 思わない ■ 1 よくそう思わない

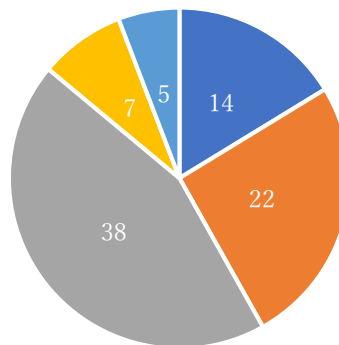
■ 5 よくそう思う ■ 4 そう思う ■ 3 普通
■ 2 思わない ■ 1 よくそう思わない

Q3. 今の自分自身の時間の使い方に意義を感じられている

○ 自分の時間の使い方に意義を感じられている生徒が増加し、増加し、半数を超え、他方でまったく意義を感じていない生徒はいなくなった。

【6月7日分】

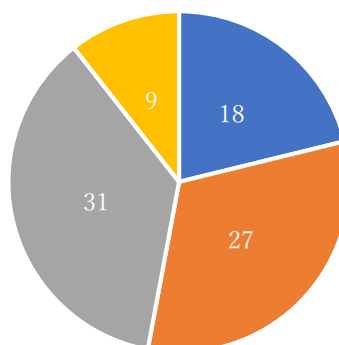
	度数	割合
5 よくそう思う	14	16.3%
4 そう思う	22	25.6%
3 普通	38	44.2%
2 思わない	7	8.1%
1 よくそう思わない	5	5.8%
合計	86	100.0%



■ 5 よくそう思う ■ 4 そう思う ■ 3 普通
■ 2 思わない ■ 1 よくそう思わない

【3月6日分】

	度数	割合
5 よくそう思う	18	21.2%
4 そう思う	27	31.8%
3 普通	31	36.5%
2 思わない	9	10.6%
1 よくそう思わない	0	0.0%
合計	85	100.0%



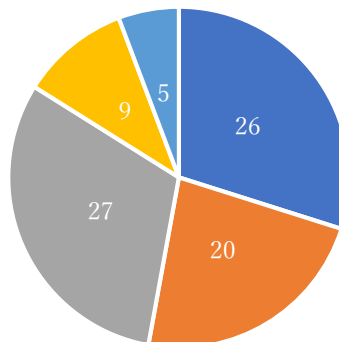
■ 5 よくそう思う ■ 4 そう思う ■ 3 普通
■ 2 思わない ■ 1 よくそう思わない

Q4. 満足のいく人生を送るために学び続けたいと思う

○満足のいく人生を送るために学び続けたいと思う生徒が増加し、約7割に達した。

【6月7日分】

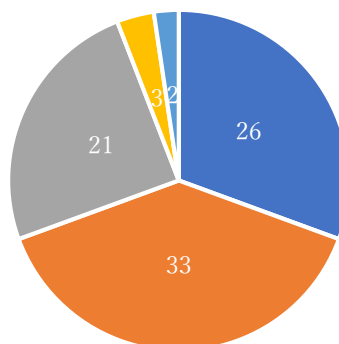
	度数	割合
5 よくそう思う	26	29.9%
4 そう思う	20	23.0%
3 普通	27	31.0%
2 思わない	9	10.3%
1 よくそう思わない	5	5.7%
合計	87	100.0%



■ 5 よくそう思う ■ 4 そう思う ■ 3 普通
■ 2 思わない ■ 1 よくそう思わない

【3月6日分】

	度数	割合
5 よくそう思う	26	30.6%
4 そう思う	33	38.8%
3 普通	21	24.7%
2 思わない	3	3.5%
1 よくそう思わない	2	2.4%
合計	85	100.0%



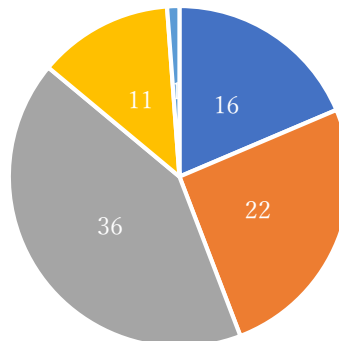
■ 5 よくそう思う ■ 4 そう思う ■ 3 普通
■ 2 思わない ■ 1 よくそう思わない

Q5. 痛みを感じた時に、自分をいたわる為にできる何かがある

○痛みを感じた時に、自分をいたわる為にできる何かがあると思う生徒は増加し、半数を超えた。

【6月7日分】

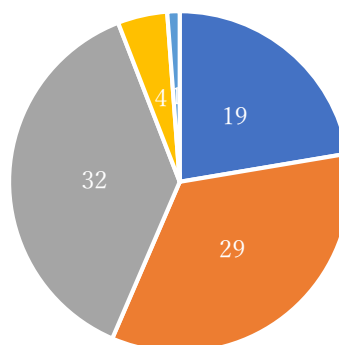
	度数	割合
5 よくそう思う	16	18.6%
4 そう思う	22	25.6%
3 普通	36	41.9%
2 思わない	11	12.8%
1 よくそう思わない	1	1.2%
合計	86	100.0%



■ 5 よくそう思う ■ 4 そう思う ■ 3 普通
■ 2 思わない ■ 1 よくそう思わない

【3月6日分】

	度数	割合
5 よくそう思う	19	22.4%
4 そう思う	29	34.1%
3 普通	32	37.6%
2 思わない	4	4.7%
1 よくそう思わない	1	1.2%
合計	85	100.0%



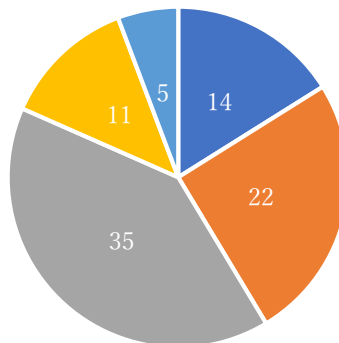
■ 5 よくそう思う ■ 4 そう思う ■ 3 普通
■ 2 思わない ■ 1 よくそう思わない

Q6. 偏見をつまらないものだと感じる

○偏見をつまらないものだと感じる生徒は増加し、半数を超えた。

【6月7日分】

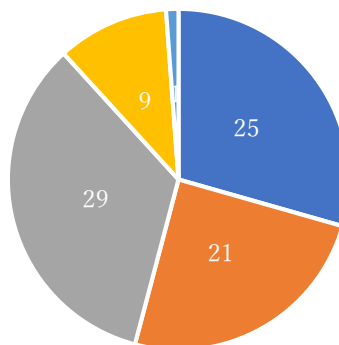
	度数	割合
5 よくそう思う	14	16.1%
4 そう思う	22	25.3%
3 普通	35	40.2%
2 思わない	11	12.6%
1 よくそう思わない	5	5.7%
合計	87	100.0%



■ 5 よくそう思う ■ 4 そう思う ■ 3 普通
■ 2 思わない ■ 1 よくそう思わない

【3月6日分】

	度数	割合
5 よくそう思う	25	29.4%
4 そう思う	21	24.7%
3 普通	29	34.1%
2 思わない	9	10.6%
1 よくそう思わない	1	1.2%
合計	85	100.0%



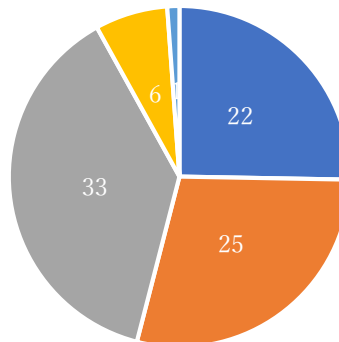
■ 5 よくそう思う ■ 4 そう思う ■ 3 普通
■ 2 思わない ■ 1 よくそう思わない

Q7. 友人と円滑なコミュニケーションを取ることができている

○友人と円滑なコミュニケーションを取ることができていると思う生徒は増加し、約7割に達した。

【6月7日分】

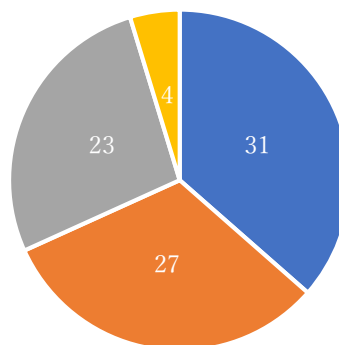
	度数	割合
5 よくそう思う	22	25.3%
4 そう思う	25	28.7%
3 普通	33	37.9%
2 思わない	6	6.9%
1 よくそう思わない	1	1.1%
合計	87	100.0%



■ 5 よくそう思う ■ 4 そう思う ■ 3 普通
■ 2 思わない ■ 1 よくそう思わない

【3月6日分】

	度数	割合
5 よくそう思う	31	36.5%
4 そう思う	27	31.8%
3 普通	23	27.1%
2 思わない	4	4.7%
1 よくそう思わない	0	0.0%
合計	85	100.0%



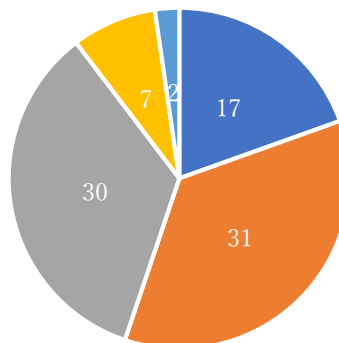
■ 5 よくそう思う ■ 4 そう思う ■ 3 普通
■ 2 思わない ■ 1 よくそう思わない

Q8. 先生と円滑なコミュニケーションをとることができている

○先生と円滑なコミュニケーションをとることができていると思う生徒は増加し、6割を超えた。

【6月7日分】

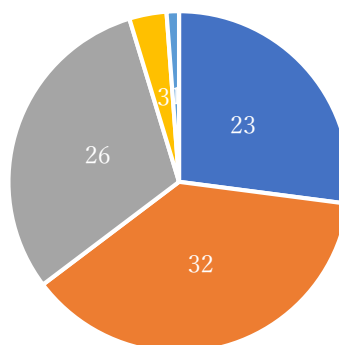
	度数	割合
5 よくそう思う	17	19.5%
4 そう思う	31	35.6%
3 普通	30	34.5%
2 思わない	7	8.0%
1 よくそう思わない	2	2.3%
合計	87	100.0%



■ 5 よくそう思う ■ 4 そう思う ■ 3 普通
■ 2 思わない ■ 1 よくそう思わない

【3月6日分】

	度数	割合
5 よくそう思う	23	27.1%
4 そう思う	32	37.6%
3 普通	26	30.6%
2 思わない	3	3.5%
1 よくそう思わない	1	1.2%
合計	85	100.0%



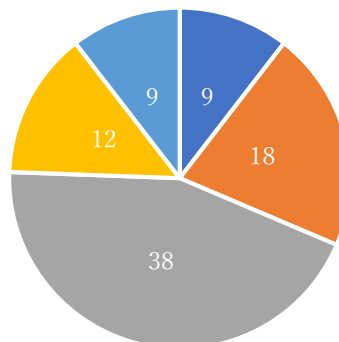
■ 5 よくそう思う ■ 4 そう思う ■ 3 普通
■ 2 思わない ■ 1 よくそう思わない

Q9. 初めて会った人と円滑なコミュニケーションをとることができている

○初めて会った人と円滑なコミュニケーションをとることができていると思う生徒は増加し、他方でコミュニケーションをとることがまったくできていないと思う生徒は2名にまで減少した。

【6月7日分】

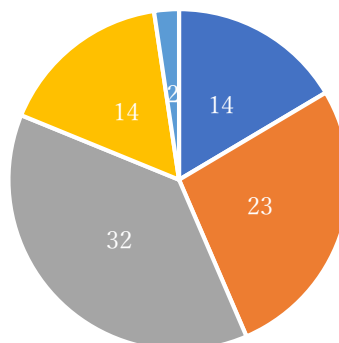
	度数	割合
5 よくそう思う	9	10.5%
4 そう思う	18	20.9%
3 普通	38	44.2%
2 思わない	12	14.0%
1 よくそう思わない	9	10.5%
合計	86	100.0%



■ 5 よくそう思う ■ 4 そう思う ■ 3 普通
■ 2 思わない ■ 1 よくそう思わない

【3月6日分】

	度数	割合
5 よくそう思う	14	16.5%
4 そう思う	23	27.1%
3 普通	32	37.6%
2 思わない	14	16.5%
1 よくそう思わない	2	2.4%
合計	85	100.0%



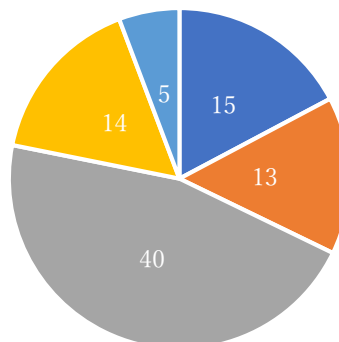
■ 5 よくそう思う ■ 4 そう思う ■ 3 普通
■ 2 思わない ■ 1 よくそう思わない

Q10. 感情的になることが少なくなった

○感情的になることが少なくなったと思う生徒は増加し、他方で感情的になることが少なくなってはいないと思う生徒は減少している。

【6月7日分】

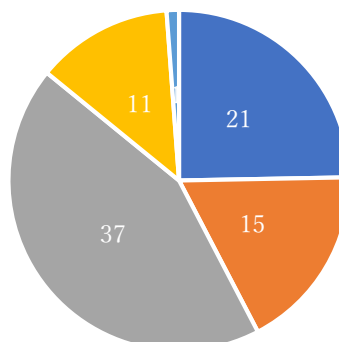
	度数	割合
5 よくそう思う	15	17.2%
4 そう思う	13	14.9%
3 普通	40	46.0%
2 思わない	14	16.1%
1 よくそう思わない	5	5.7%
合計	87	100.0%



■ 5 よくそう思う ■ 4 そう思う ■ 3 普通
■ 2 思わない ■ 1 よくそう思わない

【3月6日分】

	度数	割合
5 よくそう思う	21	24.7%
4 そう思う	15	17.6%
3 普通	37	43.5%
2 思わない	11	12.9%
1 よくそう思わない	1	1.2%
合計	85	100.0%



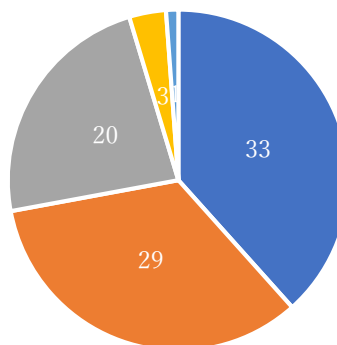
■ 5 よくそう思う ■ 4 そう思う ■ 3 普通
■ 2 思わない ■ 1 よくそう思わない

Q11. 色々な人とコミュニケーションを取ることは自分の人生に有効であると思う

○色々な人とコミュニケーションを取ることは自分の人生に有効であると思う生徒は増加し、約8割に達した。

【6月7日分】

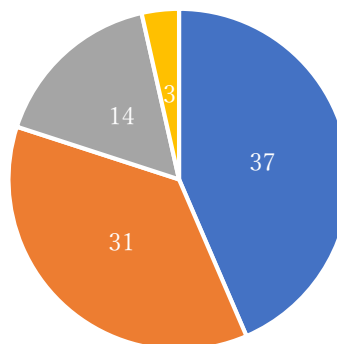
	度数	割合
5 よくそう思う	33	38.4%
4 そう思う	29	33.7%
3 普通	20	23.3%
2 思わない	3	3.5%
1 よくそう思わない	1	1.2%
合計	86	100.0%



■ 5 よくそう思う ■ 4 そう思う ■ 3 普通
■ 2 思わない ■ 1 よくそう思わない

【3月6日分】

	度数	割合
5 よくそう思う	37	43.5%
4 そう思う	31	36.5%
3 普通	14	16.5%
2 思わない	3	3.5%
1 よくそう思わない	0	0.0%
合計	85	100.0%



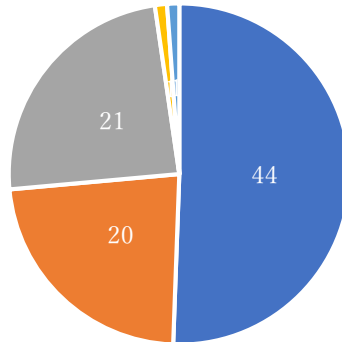
■ 5 よくそう思う ■ 4 そう思う ■ 3 普通
■ 2 思わない ■ 1 よくそう思わない

Q12. 初めてのことも回数を重ねると出来るようになると思う

○初めてのことも回数を重ねると出来るようになると思う生徒はやや増加している。

【6月7日分】

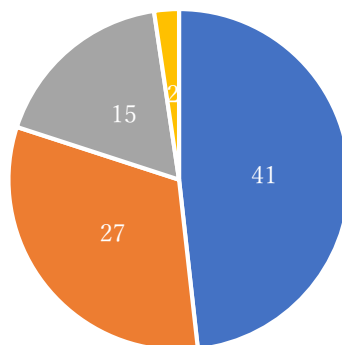
	度数	割合
5 よくそう思う	44	50.6%
4 そう思う	20	23.0%
3 普通	21	24.1%
2 思わない	1	1.1%
1 よくそう思わない	1	1.1%
合計	87	100.0%



■ 5 よくそう思う ■ 4 そう思う ■ 3 普通
■ 2 思わない ■ 1 よくそう思わない

【3月6日分】

	度数	割合
5 よくそう思う	41	48.2%
4 そう思う	27	31.8%
3 普通	15	17.6%
2 思わない	2	2.4%
1 よくそう思わない	0	0.0%
合計	85	100.0%



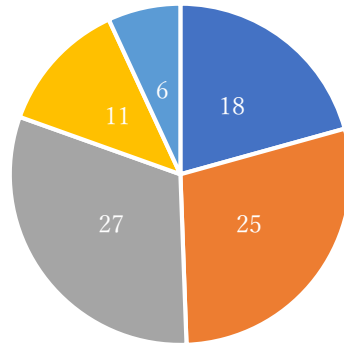
■ 5 よくそう思う ■ 4 そう思う ■ 3 普通
■ 2 思わない ■ 1 よくそう思わない

Q13. 自分が知らない世界に興味が出た

○自分が知らない世界に興味が出た生徒は、ほとんど変化が見られない。

【6月7日分】

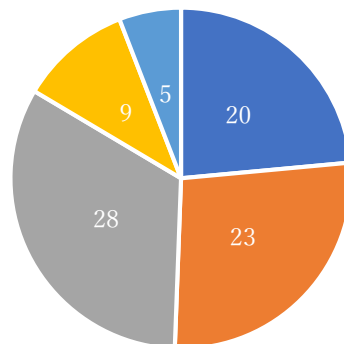
	度数	割合
5 よくそう思う	18	20.7%
4 そう思う	25	28.7%
3 普通	27	31.0%
2 思わない	11	12.6%
1 よくそう思わない	6	6.9%
合計	87	100.0%



■ 5 よくそう思う ■ 4 そう思う ■ 3 普通
■ 2 思わない ■ 1 よくそう思わない

【3月6日分】

	度数	割合
5 よくそう思う	20	23.5%
4 そう思う	23	27.1%
3 普通	28	32.9%
2 思わない	9	10.6%
1 よくそう思わない	5	5.9%
合計	85	100.0%



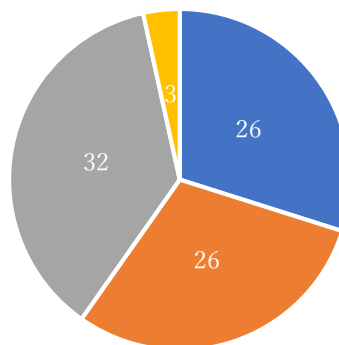
■ 5 よくそう思う ■ 4 そう思う ■ 3 普通
■ 2 思わない ■ 1 よくそう思わない

Q14. 色々な価値観があることを理解できるようになった

○色々な価値観があることを理解できるようになったと思う生徒は増加している。

【6月7日分】

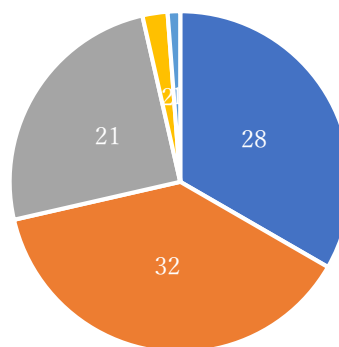
	度数	割合
5 よくそう思う	26	29.9%
4 そう思う	26	29.9%
3 普通	32	36.8%
2 思わない	3	3.4%
1 よくそう思わない	0	0.0%
合計	87	100.0%



■ 5 よくそう思う ■ 4 そう思う ■ 3 普通
■ 2 思わない ■ 1 よくそう思わない

【3月6日分】

	度数	割合
5 よくそう思う	28	33.3%
4 そう思う	32	38.1%
3 普通	21	25.0%
2 思わない	2	2.4%
1 よくそう思わない	1	1.2%
合計	84	100.0%



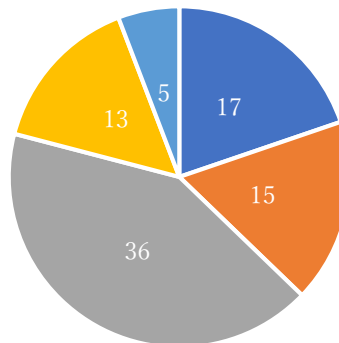
■ 5 よくそう思う ■ 4 そう思う ■ 3 普通
■ 2 思わない ■ 1 よくそう思わない

Q15. 言葉が通じなくても楽しめる

○言葉が通じなくても楽しめると思う生徒は増加している。

【6月7日分】

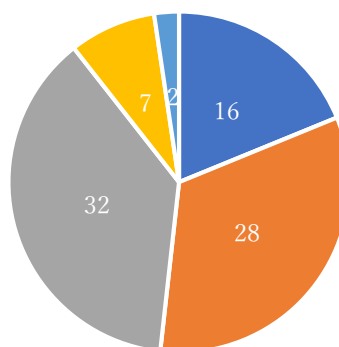
	度数	割合
5 よくそう思う	17	19.8%
4 そう思う	15	17.4%
3 普通	36	41.9%
2 思わない	13	15.1%
1 よくそう思わない	5	5.8%
合計	86	100.0%



■ 5 よくそう思う ■ 4 そう思う ■ 3 普通
■ 2 思わない ■ 1 よくそう思わない

【3月6日分】

	度数	割合
5 よくそう思う	16	18.8%
4 そう思う	28	32.9%
3 普通	32	37.6%
2 思わない	7	8.2%
1 よくそう思わない	2	2.4%
合計	85	100.0%



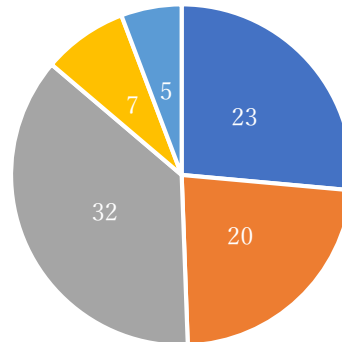
■ 5 よくそう思う ■ 4 そう思う ■ 3 普通
■ 2 思わない ■ 1 よくそう思わない

Q16. みんなと協力することが好きだ。

○みんなと協力することが好きだと思う生徒は増加している。

【6月7日分】

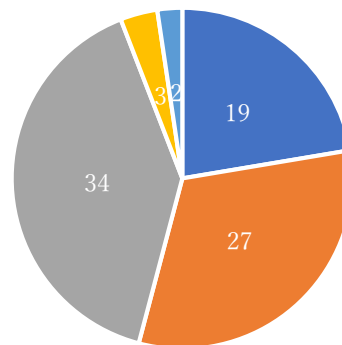
	度数	割合
5 よくそう思う	23	26.4%
4 そう思う	20	23.0%
3 普通	32	36.8%
2 思わない	7	8.0%
1 よくそう思わない	5	5.7%
合計	87	100.0%



■ 5 よくそう思う ■ 4 そう思う ■ 3 普通
■ 2 思わない ■ 1 よくそう思わない

【3月6日分】

	度数	割合
5 よくそう思う	19	22.4%
4 そう思う	27	31.8%
3 普通	34	40.0%
2 思わない	3	3.5%
1 よくそう思わない	2	2.4%
合計	85	100.0%



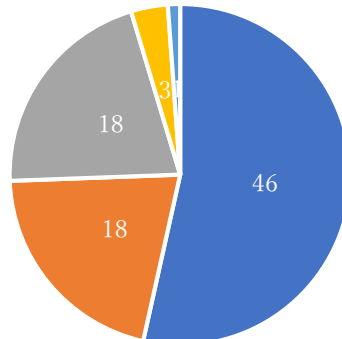
■ 5 よくそう思う ■ 4 そう思う ■ 3 普通
■ 2 思わない ■ 1 よくそう思わない

Q17. 自分の人生を自分で決めていきたい。

○自分の人生を自分で決めていきたいと思う生徒はやや増加している。

【6月7日分】

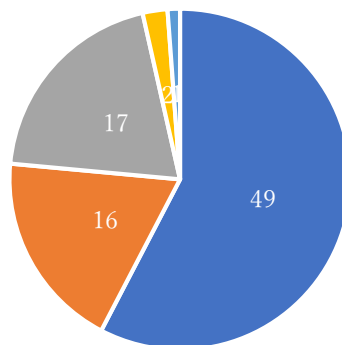
	度数	割合
5 よくそう思う	46	53.5%
4 そう思う	18	20.9%
3 普通	18	20.9%
2 思わない	3	3.5%
1 よくそう思わない	1	1.2%
合計	86	100.0%



■ 5 よくそう思う ■ 4 そう思う ■ 3 普通
■ 2 思わない ■ 1 よくそう思わない

【3月6日分】

	度数	割合
5 よくそう思う	49	57.6%
4 そう思う	16	18.8%
3 普通	17	20.0%
2 思わない	2	2.4%
1 よくそう思わない	1	1.2%
合計	85	100.0%



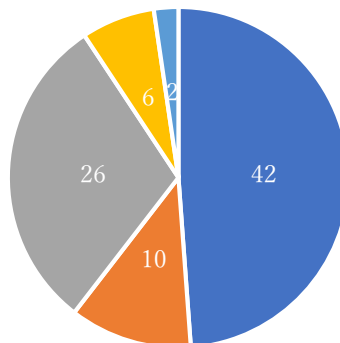
■ 5 よくそう思う ■ 4 そう思う ■ 3 普通
■ 2 思わない ■ 1 よくそう思わない

Q18. 本音を話せる人がいる。

○本音を話せる人がいると思う生徒はやや増加している。

【6月7日分】

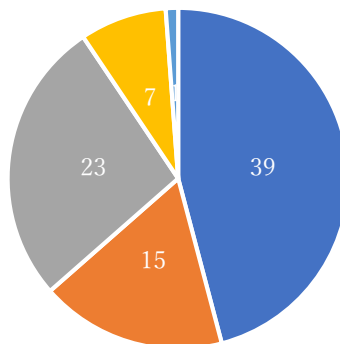
	度数	割合
5 よくそう思う	42	48.8%
4 そう思う	10	11.6%
3 普通	26	30.2%
2 思わない	6	7.0%
1 よくそう思わない	2	2.3%
合計	86	100.0%



■ 5 よくそう思う ■ 4 そう思う ■ 3 普通
■ 2 思わない ■ 1 よくそう思わない

【3月6日分】

	度数	割合
5 よくそう思う	39	45.9%
4 そう思う	15	17.6%
3 普通	23	27.1%
2 思わない	7	8.2%
1 よくそう思わない	1	1.2%
合計	85	100.0%



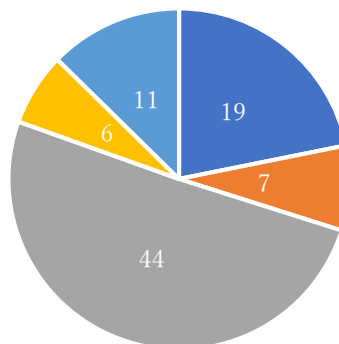
■ 5 よくそう思う ■ 4 そう思う ■ 3 普通
■ 2 思わない ■ 1 よくそう思わない

Q19. リアルな授業よりオンライン授業の方が好きだ。

○リアルな授業よりオンライン授業の方が好きだと思う生徒はほとんど変化ないが、リアルな授業の方が好きだと思う生徒は増加している。

【6月7日分】

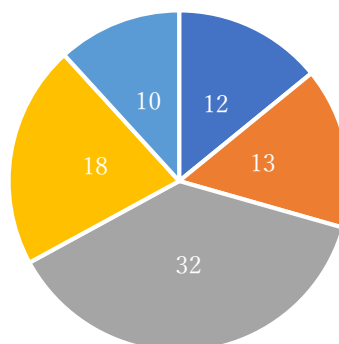
	度数	割合
5 よくそう思う	19	21.8%
4 そう思う	7	8.0%
3 普通	44	50.6%
2 思わない	6	6.9%
1 よくそう思わない	11	12.6%
合計	87	100.0%



■ 5 よくそう思う ■ 4 そう思う ■ 3 普通
■ 2 思わない ■ 1 よくそう思わない

【3月6日分】

	度数	割合
5 よくそう思う	12	14.1%
4 そう思う	13	15.3%
3 普通	32	37.6%
2 思わない	18	21.2%
1 よくそう思わない	10	11.8%
合計	85	100.0%



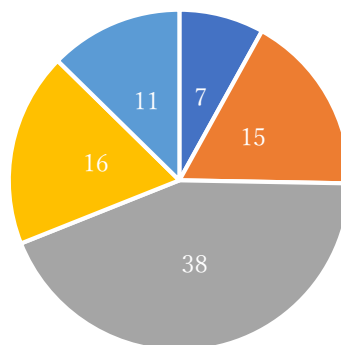
■ 5 よくそう思う ■ 4 そう思う ■ 3 普通
■ 2 思わない ■ 1 よくそう思わない

Q20. どんなタイプな人でもうまく付き合えるほうだ。

○どんなタイプな人でもうまく付き合えるほうだと思う生徒は増加し、まったく思わない生徒は減少した。

【6月7日分】

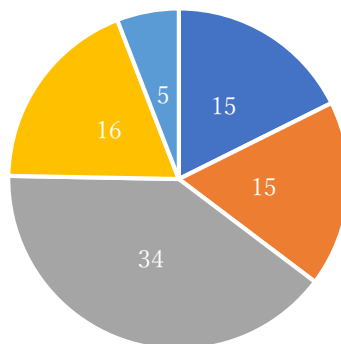
	度数	割合
5 よくそう思う	7	8.0%
4 そう思う	15	17.2%
3 普通	38	43.7%
2 思わない	16	18.4%
1 よくそう思わない	11	12.6%
合計	87	100.0%



■ 5 よくそう思う ■ 4 そう思う ■ 3 普通
■ 2 思わない ■ 1 よくそう思わない

【3月6日分】

	度数	割合
5 よくそう思う	15	17.6%
4 そう思う	15	17.6%
3 普通	34	40.0%
2 思わない	16	18.8%
1 よくそう思わない	5	5.9%
合計	85	100.0%



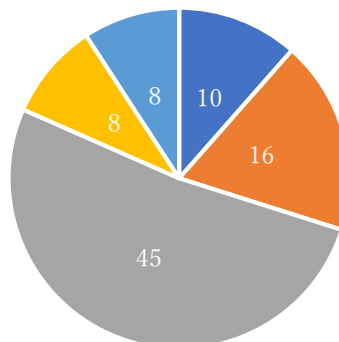
■ 5 よくそう思う ■ 4 そう思う ■ 3 普通
■ 2 思わない ■ 1 よくそう思わない

Q21. 相談を受けることが多い。

○相談を受けることが多いという生徒はあまり変化がない。

【6月7日分】

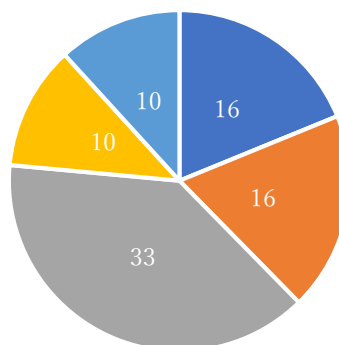
	度数	割合
5 よくそう思う	10	11.5%
4 そう思う	16	18.4%
3 普通	45	51.7%
2 思わない	8	9.2%
1 よくそう思わない	8	9.2%
合計	87	100.0%



■ 5 よくそう思う ■ 4 そう思う ■ 3 普通
■ 2 思わない ■ 1 よくそう思わない

【3月6日分】

	度数	割合
5 よくそう思う	16	18.8%
4 そう思う	16	18.8%
3 普通	33	38.8%
2 思わない	10	11.8%
1 よくそう思わない	10	11.8%
合計	85	100.0%

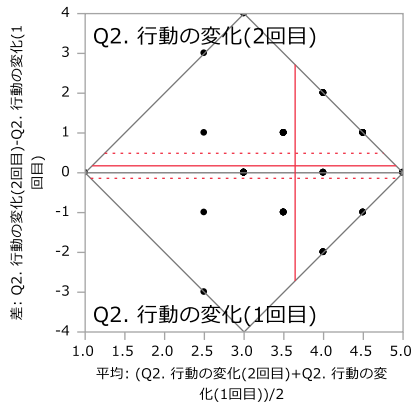


■ 5 よくそう思う ■ 4 そう思う ■ 3 普通
■ 2 思わない ■ 1 よくそう思わない

2. 変化の分析 (対応のある t 検定)

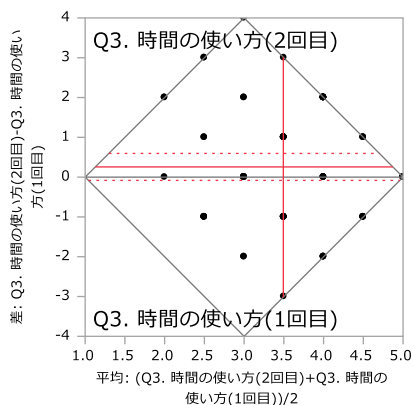
○ 「Q6. 偏見をつまらないものだと感じる」「Q9. 初めて会った人と円滑なコミュニケーションをとることができる」「Q10. 感情的になることが少なくなった」「Q20. どんなタイプな人でもうまく付き合えるほうだ。」の4つの項目において統計的有意に向上が見られた。

Q2. 自分の欠点や能力のなさを無条件で受け入れられるとしたら、今の行動に変化は起きると思う



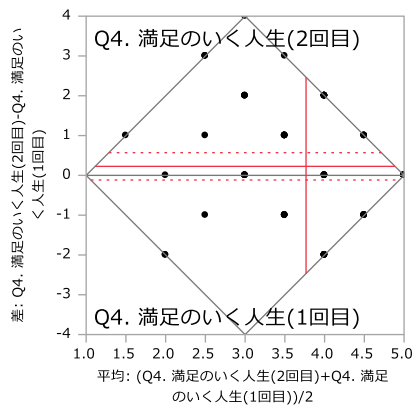
Q2. 行動の変化(2 回目)	3.72973	t 値	1.112446
Q2. 行動の変化(1 回目)	3.55405	自由度	73
差の平均	0.17568	p 値(Prob> t)	0.2696
標準誤差	0.15792	p 値(Prob>t)	0.1348
上側 95%	0.49041	p 値(Prob<t)	0.8652
下側 95%	-0.1391		
N	74		
相関	0.04376		

Q3. 今の自分自身の時間の使い方に意義を感じられている



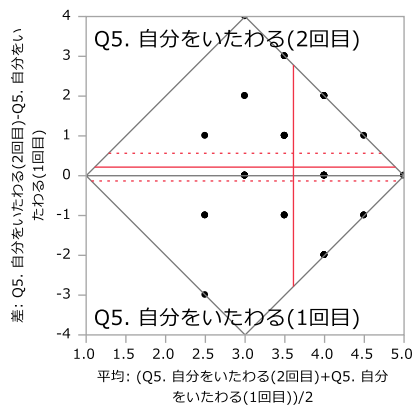
Q3. 時間の使い方(2 回目)	3.62162	t 値	1.510315
Q3. 時間の使い方(1 回目)	3.36486	自由度	73
差の平均	0.25676	p 値(Prob> t)	0.1353
標準誤差	0.17	p 値(Prob>t)	0.0676
上側 95%	0.59557	p 値(Prob<t)	0.9324
下側 95%	-0.0821		
N	74		
相関	-0.0372		

Q4. 満足のいく人生を送るために学び続けたいと思う



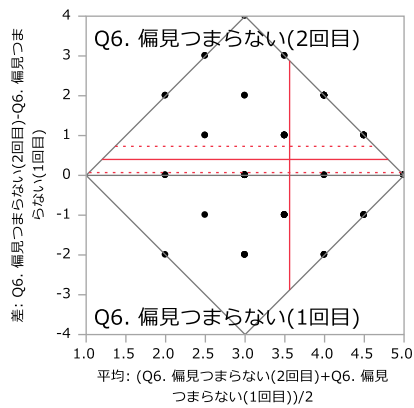
Q4. 満足のいく人生(2 回目)	3.88	t 値	1.314012
Q4. 満足のいく人生(1 回目)	3.65333	自由度	74
差の平均	0.22667	p 値(Prob> t)	0.1929
標準誤差	0.1725	p 値(Prob>t)	0.0965
上側 95%	0.57038	p 値(Prob<t)	0.9035
下側 95%	-0.117		
N	75		
相関	0.09939		

Q5. 痛みを感じた時に、自分をいたわる為にできる何かがある



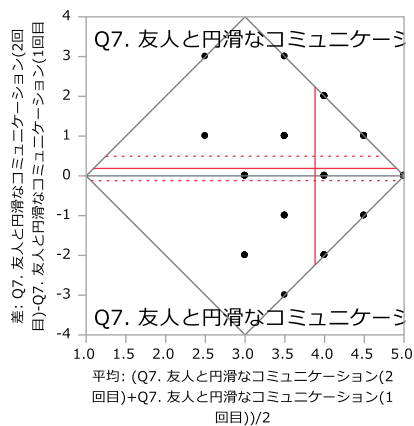
Q5. 自分をいたわる(2 回目)	3.71622	t 値	1.23888
Q5. 自分をいたわる(1 回目)	3.5	自由度	73
差の平均	0.21622	p 値(Prob> t)	0.2194
標準誤差	0.17453	p 値(Prob>t)	0.1097
上側 95%	0.56405	p 値(Prob<t)	0.8903
下側 95%	-0.1316		
N	74		
相関	-0.2145		

Q6. 偏見をつまらないものだと感じる



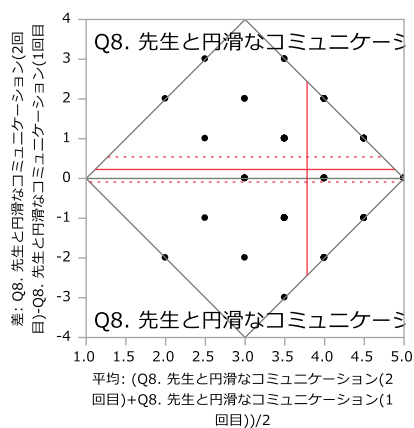
Q6. 偏見をつまらない(2 回目)	3.76	t 値	2.417045
Q6. 偏見をつまらない(1 回目)	3.36	自由度	74
差の平均	0.4	p 値(Prob> t)	0.0181*
標準誤差	0.16549	p 値(Prob>t)	0.0091*
上側 95%	0.72975	p 値(Prob<t)	0.9909
下側 95%	0.07025		
N	75		
相関	0.11101		

Q7. 友人と円滑なコミュニケーションを取ることができている



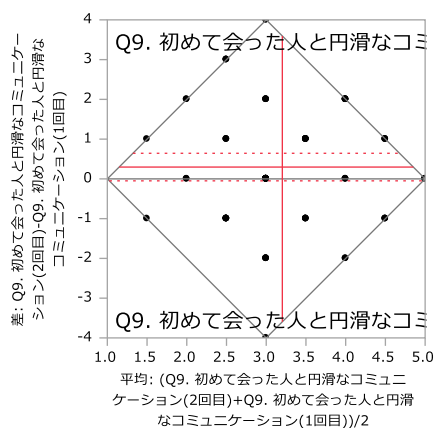
Q7. 友人と円滑なコミュニケーション(2 回目)	3.97333	t 値	1.213215
Q7. 友人と円滑なコミュニケーション(1 回目)	3.78667	自由度	74
差の平均	0.18667	p 値(Prob> t)	0.2289
標準誤差	0.15386	p 値(Prob>t)	0.1145
上側 95%	0.49324	p 値(Prob<t)	0.8855
下側 95%	-0.1199		
N	75		
相関	0.02339		

Q8. 先生と円滑なコミュニケーションをとることができている



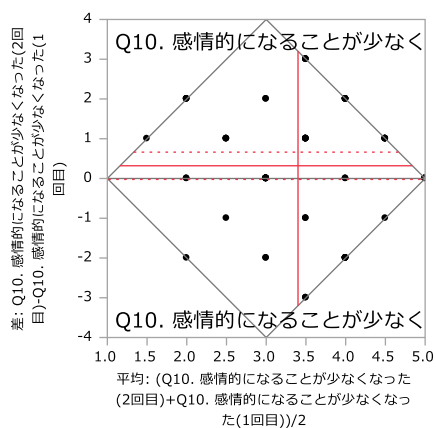
Q8. 先生と円滑なコミュニケーション(2回目)	3.89333	t 値	1.431521
Q8. 先生と円滑なコミュニケーション(1回目)	3.66667	自由度	74
差の平均	0.22667	p 値(Prob> t)	0.1565
標準誤差	0.15834	p 値(Prob>t)	0.0782
上側 95%	0.54217	p 値(Prob<t)	0.9218
下側 95%	-0.0888		
N	75		
相関	-0.0399		

Q9. 初めて会った人と円滑なコミュニケーションをとることができている



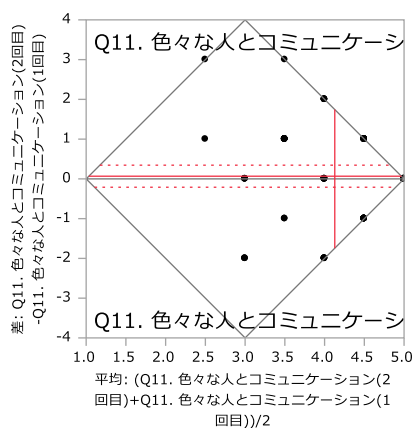
Q9. 初めて会った人と円滑なコミュニケーション(2回目)	3.35135	t 値	1.709083
Q9. 初めて会った人と円滑なコミュニケーション(1回目)	3.05405	自由度	73
差の平均	0.2973	p 値(Prob> t)	0.0917
標準誤差	0.17395	p 値(Prob>t)	0.0458*
上側 95%	0.64398	p 値(Prob<t)	0.9542
下側 95%	-0.0494		
N	74		
相関	0.01916		

Q10. 感情的になることが少なくなった



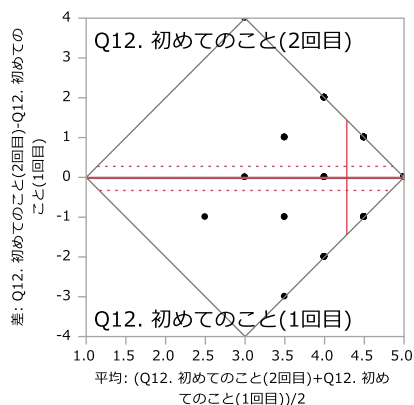
Q10. 感情的になることが少なくなった(2回目)	3.56	t 値	1.859736
Q10. 感情的になることが少なくなった(1回目)	3.24	自由度	74
差の平均	0.32	p 値(Prob> t)	0.0669
標準誤差	0.17207	p 値(Prob>t)	0.0334*
上側 95%	0.66285	p 値(Prob<t)	0.9666
下側 95%	-0.0229		
N	75		
相関	0.06746		

Q11. 色々な人とコミュニケーションを取るとは自分の人生に有効であると思う



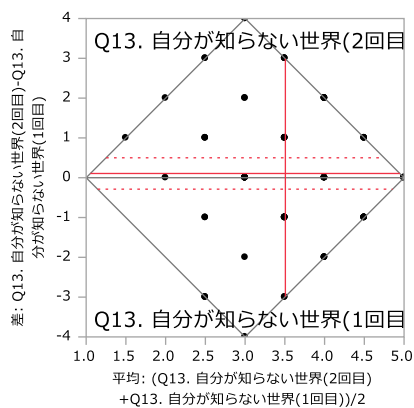
Q11. 色々な人とコミュニケーション(2回目)	4.16216	t 値	0.485423
Q11. 色々な人とコミュニケーション(1回目)	4.09459	自由度	73
差の平均	0.06757	p 値(Prob> t)	0.6288
標準誤差	0.13919	p 値(Prob>t)	0.3144
上側 95%	0.34498	p 値(Prob<t)	0.6856
下側 95%	-0.2098		
N	74		
相関	0.11641		

Q12. 初めてのことも回数を重ねると出来るようになると思う



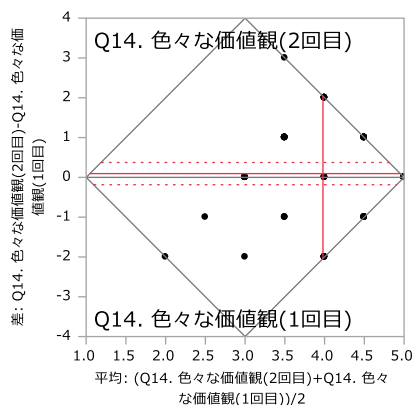
Q12. 初めてのこと(2回目)	4.26667	t 値	-0.17563
Q12. 初めてのこと(1回目)	4.29333	自由度	74
差の平均	-0.0267	p 値(Prob> t)	0.8611
標準誤差	0.15183	p 値(Prob>t)	0.5695
上側 95%	0.27587	p 値(Prob<t)	0.4305
下側 95%	-0.3292		
N	75		
相関	-0.1405		

Q13. 自分が知らない世界に興味が出た



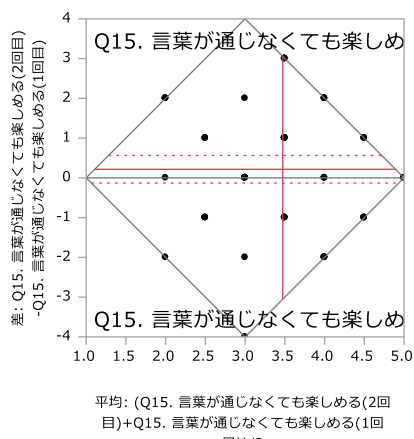
Q13. 自分が知らない世界(2回目)	3.56	t 値	0.539261
Q13. 自分が知らない世界(1回目)	3.45333	自由度	74
差の平均	0.10667	p 値(Prob> t)	0.5913
標準誤差	0.1978	p 値(Prob>t)	0.2957
上側 95%	0.5008	p 値(Prob<t)	0.7043
下側 95%	-0.2875		
N	75		
相関	-0.0911		

Q14. 色々な価値観があることを理解できるようになった



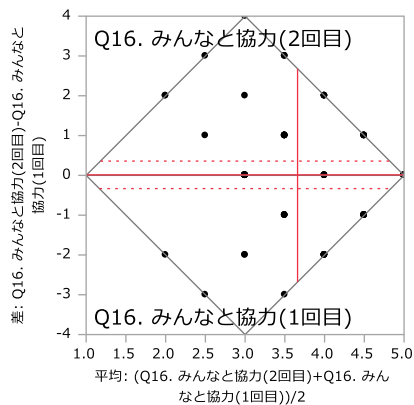
Q14. 色々な価値観(2回目)	4.02703	t 値	0.674217
Q14. 色々な価値観(1回目)	3.93243	自由度	73
差の平均	0.09459	p 値(Prob> t)	0.5023
標準誤差	0.1403	p 値(Prob>t)	0.2512
上側 95%	0.37422	p 値(Prob<t)	0.7488
下側 95%	-0.185		
N	74		
相関	0.08825		

Q15. 言葉が通じなくても楽しめる



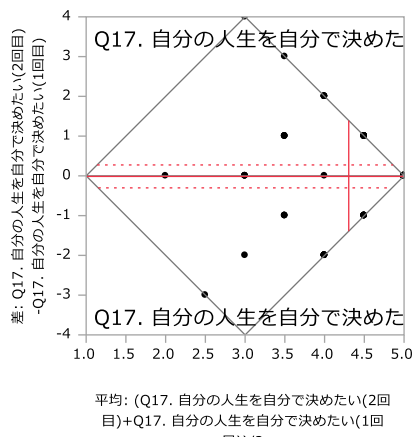
Q15. 言葉が通じなくても楽しめる(2回目)	3.58108	t 値	1.246478
Q15. 言葉が通じなくても楽しめる(1回目)	3.36486	自由度	73
差の平均	0.21622	p 値(Prob> t)	0.2166
標準誤差	0.17346	p 値(Prob>t)	0.1083
上側 95%	0.56192	p 値(Prob<t)	0.8917
下側 95%	-0.1295		
N	74		
相関	0.016		

Q16. みんなと協力することが好きだ



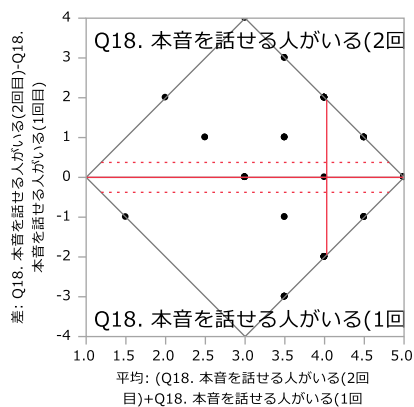
Q16. みんなと協力(2回目)	3.66667	t 値	0.076868
Q16. みんなと協力(1回目)	3.65333	自由度	74
差の平均	0.01333	p 値(Prob> t)	0.9389
標準誤差	0.17346	p 値(Prob>t)	0.4695
上側 95%	0.35896	p 値(Prob<t)	0.5305
下側 95%	-0.3323		
N	75		
相関	-0.0206		

Q17. 自分の人生を自分で決めていきたい。



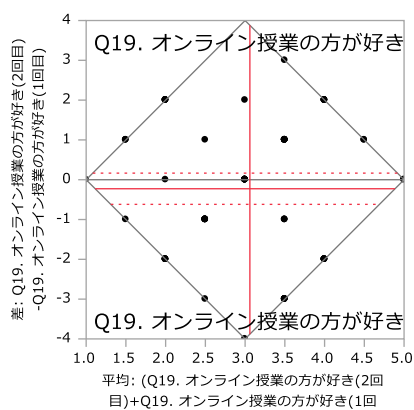
Q17. 自分の人生を自分で決めたい(2回目)	4.2973	t 値	-0.09344
Q17. 自分の人生を自分で決めたい(1回目)	4.31081	自由度	73
差の平均	-0.0135	p 値(Prob> t)	0.9258
標準誤差	0.14462	p 値(Prob>t)	0.5371
上側 95%	0.27472	p 値(Prob<t)	0.4629
下側 95%	-0.3017		
N	74		
相関	0.16504		

Q18. 本音を話せる人がいる



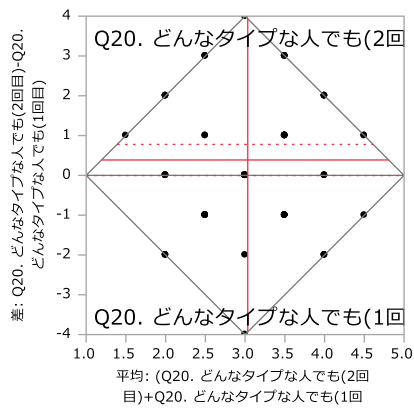
Q18. 本音を話せる人がいる(2回目)	4.02703	t 値	0
Q18. 本音を話せる人がいる(1回目)	4.02703	自由度	73
差の平均	0	p 値(Prob> t)	1.0000
標準誤差	0.18853	p 値(Prob>t)	0.5000
上側 95%	0.37573	p 値(Prob<t)	0.5000
下側 95%	-0.3757		
N	74		
相関	-0.0111		

Q19. リアルな授業よりオンライン授業の方が好きだ。



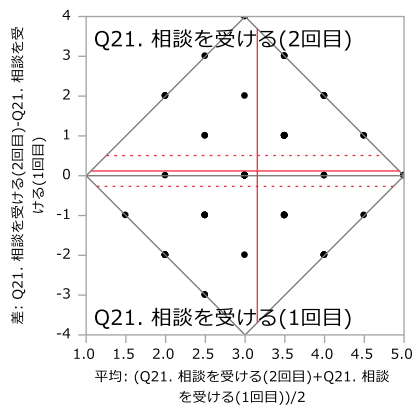
Q19. オンライン授業の方が好き(2回目)	2.94667	t 値	-1.15124
Q19. オンライン授業の方が好き(1回目)	3.17333	自由度	74
差の平均	-0.2267	p 値(Prob> t)	0.2533
標準誤差	0.19689	p 値(Prob>t)	0.8733
上側 95%	0.16564	p 値(Prob<t)	0.1267
下側 95%	-0.619		
N	75		
相関	0.04181		

Q20. どんなタイプな人でもうまく付き合えるほうだ。



Q20. どんなタイプな人でも(2回目)	3.22667	t 値	1.970121
Q20. どんなタイプな人でも(1回目)	2.84	自由度	74
差の平均	0.38667	p 値(Prob> t)	0.0526
標準誤差	0.19627	p 値(Prob>t)	0.0263*
上側 95%	0.77773	p 値(Prob<t)	0.9737
下側 95%	-0.0044		
N	75		
相関	-0.1298		

Q21. 相談を受けることが多い



Q21. 相談を受ける(2回目)	3.21333	t 値	0.617022
Q21. 相談を受ける(1回目)	3.09333	自由度	74
差の平均	0.12	p 値(Prob> t)	0.5391
標準誤差	0.19448	p 値(Prob>t)	0.2696
上側 95%	0.50751	p 値(Prob<t)	0.7304
下側 95%	-0.2675		
N	75		
相関	-0.0893		

□目標に対する本年度の結果

目 標	本年度の結果
生徒の自尊感情の向上 能動的な学習姿勢の構築	分析結果より”偏見をつまらないものだと感じる“”初めて会った人と円滑なコミュニケーションを取ることが出来ている“のアンケートに有意差が出ており、他と交流することを繰り返したことにより、自他への偏見が薄れ、自尊感情の工場に繋がったと思われる。また、相手に対して日本のことを教えることや時間制限がある中でのプレゼンテーション作りにおいて、積極性が見られた。チームにして行ったことで難易度も上がったが”楽しかった“”チームで協力できた“といったアンケートが多く、能動的な学習姿勢が養われた。
コーチングによるセルフプロデュース力の醸成	自分の人生や、授業自体を振り返ることを通じて、”自己価値観“を認識することで、自分の今後のキャリアについて”自信を持った“”ヒントがもらえた“といったアンケート回答があった。また自分の才能を他者からフィードバックされることにより、自己への気づきが起こり、セルフプロデュースの土台を構築できた。
新製品の開発	新製品の開発については、企業提案にとどまった。 今後、開発していくにあたり、自己内省と自己表現に慣れることが必要と思われ、次年度の課題となった。
プラットフォームの開発	ゲストとの交流や会議など、様々な用途として使われたが、使いやすさなど、次年度は更に精度を上げていくことが課題である。
広く周知する	企業との繋がりや提案を実施できた。本年度に行った自己内観と客観的視野の醸成により、次年度に広く周知する礎ができた。アンケート”どんなタイプの人でも付き合えるほうだ“の分析結果に有意差が出ており、様々な人へのアクションにむけて内側の土台が出来た。
広く利用してもらう	本年度は外部の方の利用に至らなかった。次年度は、周知することと並行して利用推進を行っていく。

□さいごに

2024年1月から3月の授業に関しては、それまでの対企業への生徒の様子から、自己内省からの主体的な行動に移すためのコーチング的アプローチと他者への表現を日本社会から離れた人に行い表現のしやすさに重きを置いたプログラムとした。具体的には海外にフォーカスを当て、リアルタイムでフィリピンに繋ぎ、オンラインを通じた交流から、違う世界への興味関心を育み、自らの価値観を探索するプログラムである。フィリピンとの交流回数が上がるにつれて、交流や自己表現に前向きになる生徒が多くなった印象がある。また、フィリピン人の興味に対してのプレゼンテーションにおいて、自国である日本についても発見があったという感想も上がっており、外を感じ内側の自分たちに目を向けることにも繋がり、意図していた内観力と客観視野の醸成が起こった。

来年度のキャリアサポートについては「ゲストに関することを調べる→実際に交流→行動→表現・アウトプット」というサイクルで、行動と自己表現、自己内省に慣れていき主体性を高めるように働きかけていく。アンケートより海外に興味のある生徒が多く、新たな体験や視野の広がりとなるため、引き続き海外を中心にゲストとの交流をおこしていく。

また、先生のみならず、現場のキーパーソンとして主体的に動く役割を各クラス5名程度に立候補していただき、社会の縮図ともいえる学校生活でクラスや学校を主体的に率いるチームを作る。彼らがクラスに主体的に働く流れを構築し、全体としてイベントなどに主体的参加が起こるようにする。キーパーソンの5名×3クラスの生徒は、選択授業として別でクラスに働きかけることやイベント企画実施のためのクラスとなる。生徒がメインで授業を実施したり、イベントを企画運営するために、先生や講師が伴走する形を構築する。そして、クラスから学校、学校から地域へと取り組みを増やし、今年度で慣れてきた自己表現を繰り返し、地域を巻き込んだ行動へ挑戦する。

そのためにも、オンラインで普段繋がらない人と繋がり、そこでの交流に必要な安心安全な場として、コーディネーター、現場の先生、そして生徒自身による横断的サポートで場を育み、生徒たちが主体的な取り組みを行えるようにしていく。

最終日に各自が回答した授業の振り返りにおいて、「英語や人前に出ることが苦手」という回答が数人いた。今後は、動画を流すなど自分の声を多くの人前で話さなくても表現できるよう、表現方法の選択も加味していこうと思う。具体的には、ゲストへの質問はiPadでのチャットを用いることも可能とする、プレゼンテーションは動画を事前に作ることや絵などで表現すること、他の人と協働で補うことなどである。そして、前述した、各クラスのリーダーが講師や先生にフィードバックすることで誰も取り残さない高校を主体性的な生徒同士で構築していく。このようにして、多様性を尊重し、地域社会に貢献する姿勢の醸成を引き続き行っていく。